

第6章 底生生物調査

6-1 調査概要

6-1-1 調査内容

調査概要を表 6-1-1-1 に、調査工程を表 6-1-1-2 にそれぞれ示す。

表 6-1-1-1 調査概要

項目		調査内容	調査時期	地点数等	調査数量	
底生生物調査	指標種調査	干潟上の表在性指標種を目視観察 種別個体数（カニ類は大、中、小にサイズ分け）を記録	春季：H21 6月 秋季：H21 9月	168 地点	2 回	
	指標種調査・ガザミ類調査	上位種としてのガザミ類の採取 干潟周辺 8 箇所と、河口干潟ヨシ原内に 1 昼夜カニ籠を設置し、採取された生物の種同定、種別個体数を記録	春季：H21 6月 秋季：H21 9月	9 地点	2 回	
	定量調査	干潟上で埋在性底生動物を砂泥内から 2 箇所/1 地点採取 採取試料を室内分析で、種同定、種別個体数、湿重量を計測	春季：H21 6月 秋季：H21 9月	71 地点	2 回	
	定量調査・浅海域河床底質調査地点での定量採取	小型スミスマッキンタイヤー型採泥器により干潟周辺河床域で 3 箇所/1 地点採取 採取試料を室内分析で、種同定、種別個体数、湿重量を計測	春季：H21 6月 秋季：H21 9月	6 地点	2 回	
	ヨシ原調査	ヨシ原内の表在性指標種を目視観察し、種別個体数（カニ類は大、中、小にサイズ分け）を記録 現地同定不能種は随時サンプリング実施 カワザンショウ類等微小貝類はコドラート内で採取し、室内分析により種同定、種別個体数を計測	春季：H21 6月 秋季：H21 9月	25 地点	2 回	
	ウモレマメガニ分布調査	広域調査	小型スミスマッキンタイヤー型採泥器により干潟周辺河床域で 3 箇所/1 地点採取 採取試料を室内分析で、種同定、種別個体数、湿重量を計測 同時に底質試料を採取し、室内分析（粒度組成、含水比、全硫化物、AVS、TOC、塩化物イオン濃度、底生藻類量）	H21 6月 H22 3月	6月：18 地点 3月：18 地点	2 回
		詳細調査	小型スミスマッキンタイヤー型採泥器により干潟周辺河床域で 3 箇所/1 地点採取 採取試料を室内分析で、種同定、種別個体数、湿重量を計測 同時に底質試料を採取し、室内分析（粒度組成）	H21 4月～8月 H22 3月	4月：22 地点 5月：22 地点 6月：22 地点 7月：24 地点 8月：26 地点 3月：26 地点	6 回
	海藻草類調査	定量調査時に、周辺で海藻草類の有無を捜索 海藻草類が確認された場合は、採取し室内分析で種同定、湿重量を計測	春季：H21 6月 秋季：H21 9月	71 地点	2 回	

表 6-1-1-2 現地調査工程

調査項目	H21年										H22年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
指標種調査			6 ⁹			14 ¹⁹	2						
ガザミ類調査			6 ⁹			15 ¹⁹							
定量調査、 海藻草類調査			6 ⁹ 22 ²³			15 ¹⁹	2						
浅海域河床底質調査 地点での定量採取			8			18							
ヨシ原調査			6 ⁹			15 ¹⁹							
ウモレマメガニ分布調査	30	15	5 ⁷	29	19							29 ³⁰	

6-1-2 調査位置

底生生物調査の干潟上における調査（指標種調査、定量調査、ヨシ原調査）は、平成 18 年度から表 6-1-2-1 に示す基点 10A22(東環状大橋南岸際 = No.0.0_0 と設定)と、No.10A22 と No.20A01(吉野川大橋南岸際)を結ぶ直線を基線として 50m 間隔で設定したメッシュ(格子線)上を中心に調査地点を設定した。調査位置は、過年度の底生生物調査結果を基に選定した。

干潟上の調査地点位置を図 6-1-2-1 に示す。

なお、底生生物の調査地点では、生物分布と基盤環境の関係を把握できるように、以下の調査が同一地点で実施されている。

指標種調査（168 地点）

干潟部基盤環境調査（地盤高計測、粒度組成）

定量調査（指標種調査中の 71 地点）

干潟部基盤環境調査(一般底質分析)、魚類調査

ヨシ原調査（25 地点）

干潟部基盤環境調査（地盤高計測、粒度組成）、植物調査の高茎草本群落調査（ヨシ、アイアシ等高茎草本類の茎密度、茎高等を観察）

また、ガザミ類の調査は、干潟周辺の川筋 8 地点と、ヨシ原内 1 地点の計 9 地点で行った。

干潟周辺の河床域に生息する生物を対象とした調査は、図 6-1-2-2 に示す地点で実施した。

浅海域河床底質調査 9 地点のうち 6 地点で河床の生物を調査した。

平成 17 年に希少種のウモレマメガニが多数確認されたため、平成 18 年度よりウモレマメガニ分布調査が実施された。平成 21 年度のウモレマメガニ調査は、干潟周辺の広域的なウモレマメガニの分布状況の把握を目的とした「広域調査」、平成 17 年度以降に実施された調査でウモレマメガニが多数確認された地点における春季～秋季の分布状況の変化の把握を目的とした「詳細調査」に大別して実施した。広域調査は 18 地点、詳細調査は 4 月～6 月に 22 地点、7 月に 24 地点、3 月に 26 地点でそれぞれ実施した。

表 6-1-2-1 干潟上メッシュ（格子線）の基点座標

点名	緯度	経度	国家座標系（4 系）		備考
			X	Y	
10A22	N34° 4'45.6"	E134° 34'44.5"	120228.158	99584.323	No.0.0_0
20A01	N34° 5'6.0"	E134° 33'55.0"	120842.257	98310.106	

メッシュは上記 2 点を結ぶ直線の平行、直行線で形成した。

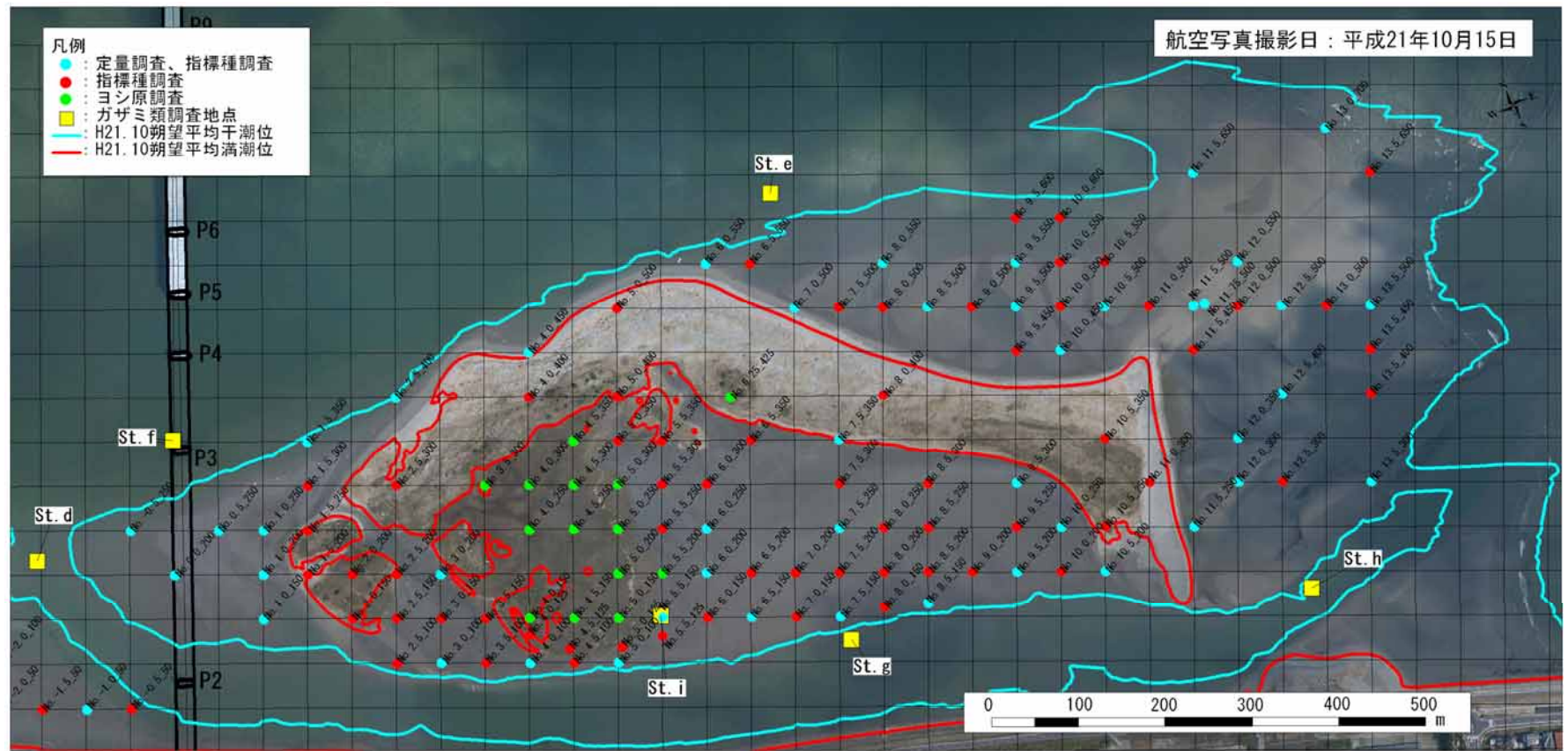


図 6-1-2-1(1) 指標種調査、定量調査、ヨシ原調査・調査点位置(河口干潟)

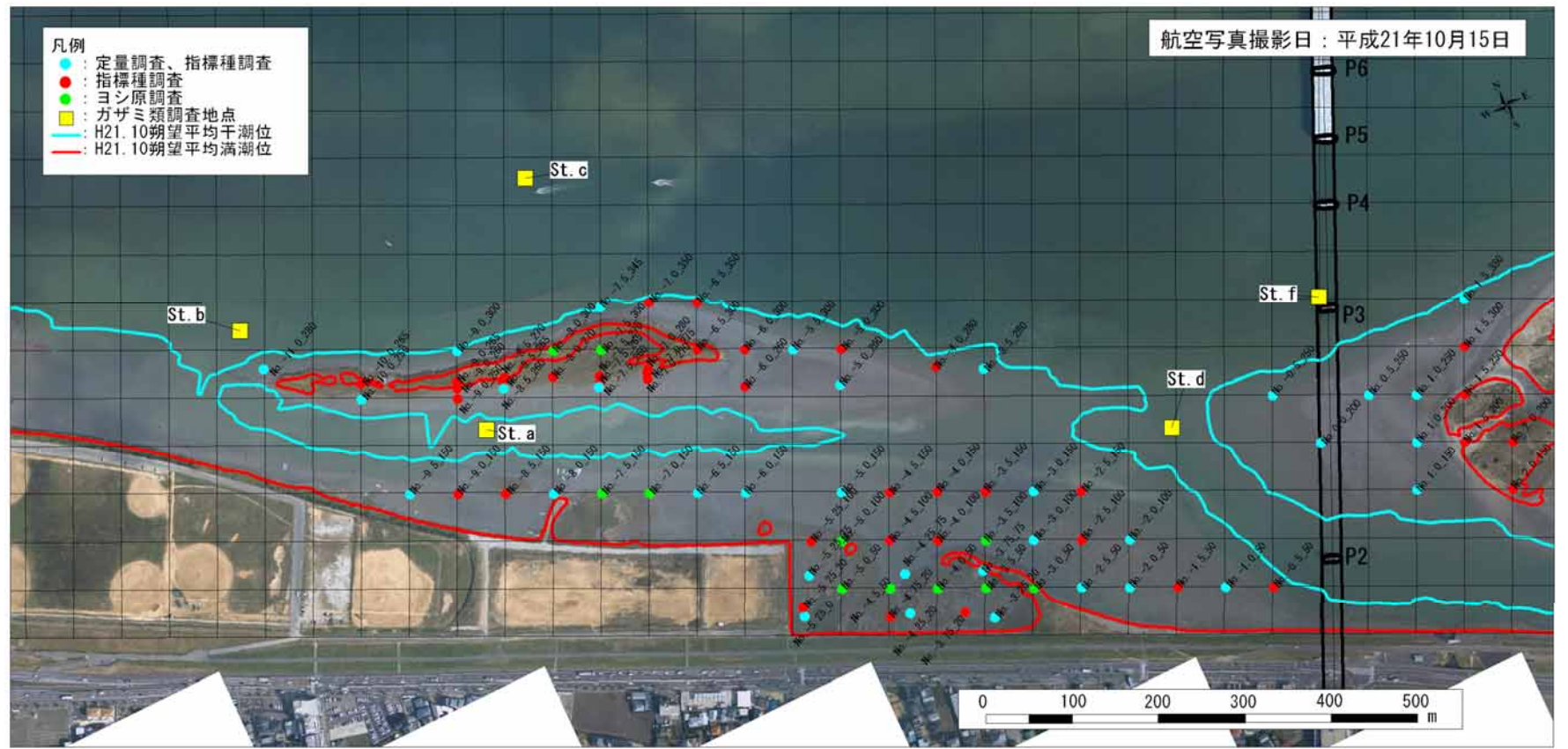


図 6-1-2-1(2) 指標種調査、定量調査、ヨシ原調査・調査点位置(住吉干潟)

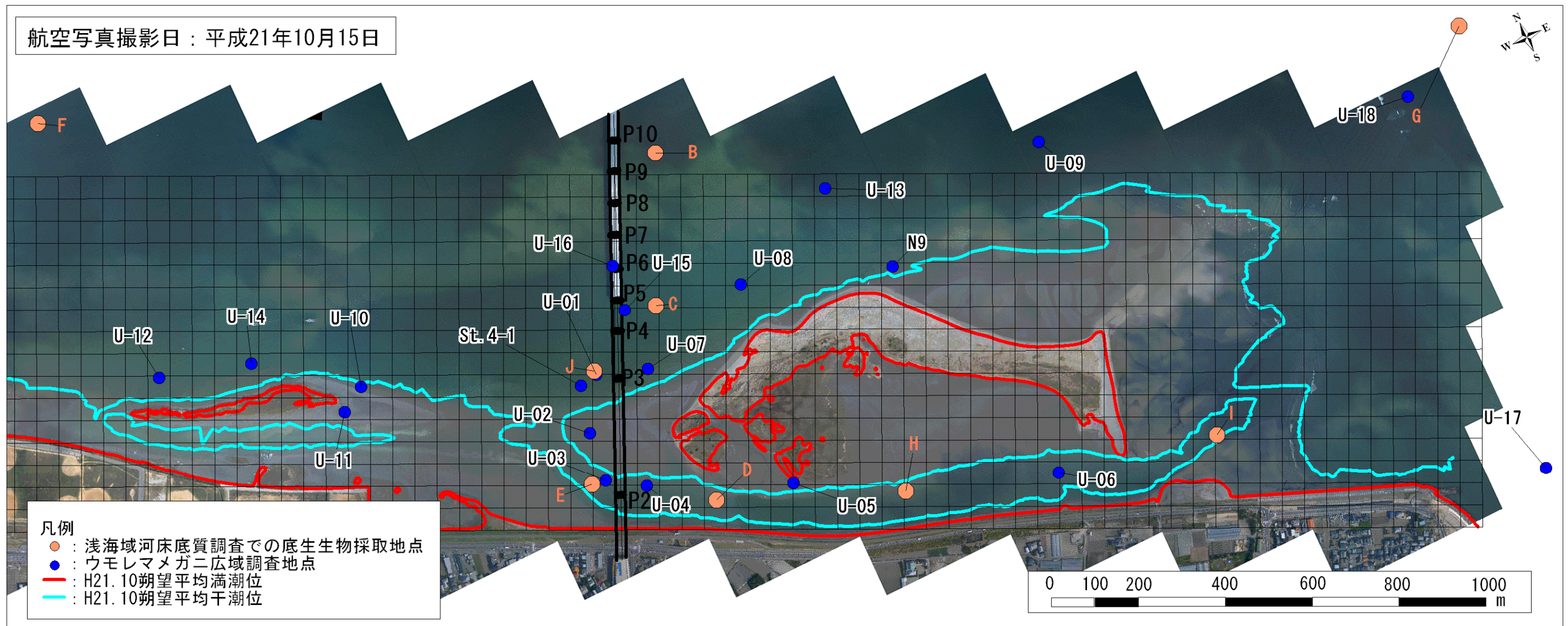
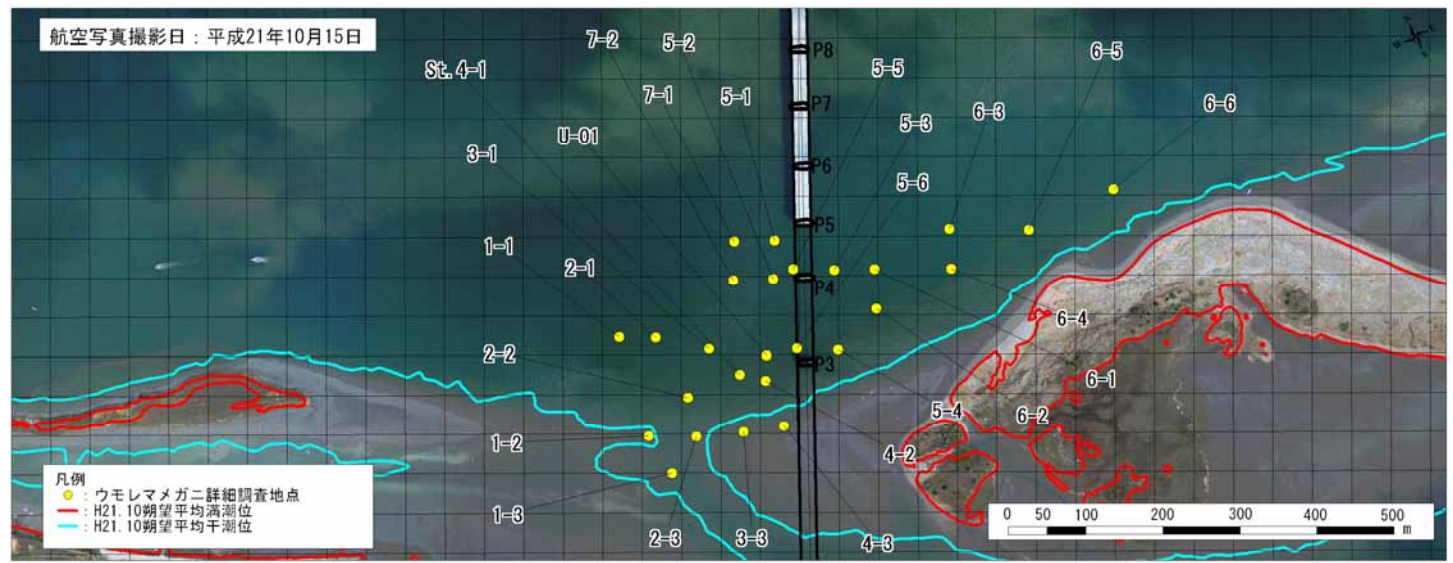


図 6-1-2-2 浅海河床底質調査での底生生物採取地点、ウモレメガニ分布調査点位置

6-1-3 調査方法

6-1-3-1 底生生物調査での指標種について

底生生物調査は、昨年度に引き続き平成 18 年 6 月に選定された指標種の状況に特に留意して実施した。表 6-1-3-1 に指標種の一覧を示す。

表 6-1-3-1 底生生物の指標種(平成 18 年 6 月現在)

区分	指標種		主対象調査
表在性種	カニ類	シオマネキ、ハクセンシオマネキ、コメツキガニ、チゴガニ、ヤマトオサガニ、オサガニ	・指標種調査 ・ヨシ原調査
	貝類	フトヘナタリガイ、ヒロクチカノコガイ、ホソウミニナ、ヘナタリガイ	・定量調査 ・浅海域河床定量調査
	多毛類	ムギワラムシ(棲管) スゴカイイソメ(棲管)	・ウモレマメガニ分布調査
埋在性種	貝類	ハマグリ、イソシジミ、ソトオリガイ	・魚類調査
	多毛類	イトメ	
上位種	ガザミ類		・ガザミ類調査

6-1-3-2 指標種調査(168地点)

指標種調査は、シオマネキなど表在性の指標種を中心とした地盤上で生息する底生生物を対象に実施した。

調査方法は、2m×2m のコドラート内の底生生物について目視観察を中心とした計数を行った。ただし、アシハラガニとヒメアシハラガニは目視判別が困難なため、目視観察時にはアシハラガニ属として計数した。また、カニ類については、表 6-1-3-2 に示す大きさに区分して計数した。

表 6-1-3-2 カニ類体長区分

種名	体長区分(甲幅)		
	大	中	小
シオマネキ、アシハラガニ属など	20mm 以上	10 ~ 20mm	5 ~ 10mm
ハクセンシオマネキ、ヤマトオサガニ、オサガニなど	-	10mm 以上	5 ~ 10mm
コメツキガニ、チゴガニなど	-	-	-

注) アシハラガニとヒメアシハラガニは、目視判別が困難なため、現地観察時はアシハラガニ属として集計した。

なお指標種調査点では、干潟部基盤環境調査として、粒度組成、微細粒度組成の試料採取および光波測距儀による地盤高計測を行った。

6-1-3-3 ヨシ原調査（25地点）

ヨシ原調査は、ヨシ原内で生息する表在性の底生生物を対象に実施した。

調査方法を以下に示す。

- ・ 2m×2mのコドラートを設定し、2名1組で15分間、目についたものを全て採集した。
なお、現地での目視判別が可能な種については指標種調査と同じ手法で種別の個体数記録を行った。
- ・ カワザンショウ類等の小型の貝類は、コドラート内に0.25m×0.25mのサブコドラートを2箇所設定し、小型貝類を全て採集した。

採集した試料は、10%ホルマリンで固定した上で持ちかえり室内分析により同定を行った。

6-1-3-4 指標種調査のガザミ類採取（9地点）

ガザミ類採取は、干潟周辺の食物連鎖の上位種であるガザミ類を対象に実施した。

調査方法は、河口干潟および住吉干潟周辺に各4地点、河口干潟のヨシ原内に1地点、1昼夜（午前中に設置し、翌日の午前中に回収）、籠網を3個/1地点設置し、採取された生物について種の同定および計数を行った。

6-1-3-5 定量調査（71地点）

定量調査は、ハマグリなど地中で主に生息する埋在性の生物を対象に実施した。

調査方法を以下に示す。

- ・ 25cm×25cm×深さ20cmの砂泥を1地点あたり2箇所採取した。
- ・ 採取した砂泥を、採取後速やかに1mmふるいでふるいわけを行い、ふるい上の残渣物を10%ホルマリンで現場固定した。
- ・ 固定した試料は、持ち帰って、種同定、種別個体数、種別湿重量の計測を行った。

なお、定量調査と同じ地点で魚類調査も実施し、魚類以外に採取された底生生物についても同定を行った。

6-1-3-6 海藻草類調査（71地点）

海藻草類調査は、干潟上で生息する海藻草類を対象に実施した。定量調査時に、調査地点周辺で海藻草類の生息の有無を確認し、生息が確認された場合は採取し、10%ホルマリンで固定後持ち帰り、種同定、種別湿重量の計測を行った。

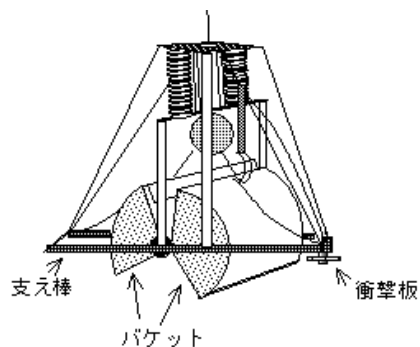
6-1-3-7 浅海域河床底質調査点での定量調査（6地点）

浅海域河床底質調査点での定量調査は、干潟周辺の潮下帯以深の河床で生息する生物を対象として、浅海域河床底質調査地点9地点のうち6地点（B、C、D、H、I、J）で行った。

調査方法を以下に示す。

- ・ 小型スミスマッキングタイヤー型採泥器（図6-1-3-1参照）を使用して船上から河床材料を3回/1地点採取した。
- ・ 採取した河床材料を採取後速やかに1mmふるいでふるいわけを行い、ふるい上の残渣物を10%ホルマリンで現場固定した。

固定した試料は、持ち帰って、種同定、種別個体数、種別湿重量の計測を行った。



採泥面積	形状	重量
22cm × 22cm 1/20m ²	45cm × 45cm × 40cm	約 20kg

図 6-1-3-1 スミスマッキンタイヤ - 型採泥器

6-1-3-8 ウモレマメガニ分布調査 (44地点)

ウモレマメガニ分布調査は、平成 17 年度に実施された「航路浚渫に係る底質・底生生物調査」において、P2-P3 橋脚間で大量に確認されたウモレマメガニの吉野川干潟における生息状況の把握を目的として、平成 18 年度から実施しており、今年度も継続して調査を行った。

平成 21 年度のウモレマメガニ調査は、干潟周辺の広域的なウモレマメガニの分布状況の把握を目的とした「広域調査」、平成 17 年度以降に実施された調査でウモレマメガニが多数確認された地点における春季～秋季の分布状況の変化の把握を目的とした「詳細調査」に大別して実施した。

調査方法は、浅海域河床定量調査と同じ方法で船上から採泥方法で試料採取を行い、底生生物の種同定、種別個体数、種別湿重量を調査した。また、表 6-1-3-3 に示す底質分析を行った。

表 6-1-3-3 ウモレマメガニ分布調査・底質分析方法

項目	実施点数	分析方法	採取方法
粒度組成	4月22地点 5月22地点 6月40地点 7月24地点 8月26地点 3月44地点	JIS A 1204	採泥器による採取
含水比	6月40地点	JIS A 1203 (土の含水比試験方法)	
全硫化物(T-S)	3月44地点	底質調査方法 (環水管 127 号昭和 63.9.8.) 17	
塩化物イオン濃度		海砂の塩化物イオン含有率試験方法(滴定法) JSCE-C 502-1999	
AVS (1)	6月40地点	検知管法(ガステック 201L, 201H)	採泥器による採取した試料から 50ml シリジにより定量採取
TOC (1)	3月40地点	Thermo Finigan 社製 FLASH EA1112 元素分析装置を用いて測定	
底生藻類量 (1)		Whitney, D. E., Darley, W. M. (1979): A method for the determination of chlorophyll a in samples containing degradation products, Limnology and Oceanography, Vol.24, pp. 183-186. に従って測定	

注：(1)は徳島大学で分析

ウモレマメガニ(学名 *Pseudopinnixa carinata*: 節足動物門 甲殻綱十脚目カクレガニ科)について

ウモレマメガニは、1属1種の日本固有種で、「和田恵次他(1996)WWF Japan Science Report Vol13 December1996(特集:日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状)」では、データ不足のため「現状不明」とされている種であり、詳細な生態が把握できていない生物である。情報不足であるためか、環境省のレッドリストには記載されていないが、表6-1-3-4に示すように、隣県である兵庫県の「兵庫県編」改訂・兵庫の貴重な自然(2003)では、Aランク(改訂・日本版レッドデータブックの絶滅危惧 類に相当し、兵庫県内において絶滅の危機に瀕している種など、緊急の保全対策、嚴重な保全対策の必要な種)の貴重性のある動物種に指定されている。

表 6-1-3-4 ウモレマメガニに対する各県の取り扱い

県名	各県の カテゴリー名	対応する 環境省カテゴリー名
熊本	VU	絶滅危惧 類(VU)
兵庫	A	絶滅危惧 類(CR+EN)

絶滅危惧 類(CR+EN): 絶滅の危機に瀕しているもの
絶滅危惧 類(VU): 絶滅の危機が増大している種

また形態としては、同じく希少種であるトリウミアカイソモドキとの類似性が指摘される種である。

参考のため表 6-1-3-5 にウモレマメガニの特徴をトリウミアカイソモドキとあわせて整理した。

表 6-1-3-5 ウモレマメガニとトリウミアカイソモドキについて

種名	ウモレマメガニ <i>Pseudopinnixa carinata</i>	トリウミアカイソモドキ <i>Acmaeopleura toriumii</i>
分類	カクレガニ科	イワガニ科
形態	・甲は台形 ・歩脚は太く、毛が密生する	・甲は丸みを帯びた四角形 ・歩脚は細く、毛はない
体色	・生時は褐色を呈し、甲には黒斑がある ・固定標本では甲の斑紋が残る	・生時は褐色を呈し、歩脚の縞模様は顕著である ・固定標本では顕著な模様はない
生態	・砂泥質の干潟に浅く埋もれて生活する ¹	・ヨコヤアナジャコやアナジャコが分布する河口干潟の泥中で生活する ²

引用文献 1 酒井 恒(1976)「日本産蟹類」講談社

2 和田ら(1996)「日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状」WWF Japan



6-2 調査結果

6-2-1 干潟の基盤環境

底生生物の調査結果について記述する前に、干潟部基盤環境調査の結果からみた、干潟の基盤環境について概要を整理した

含泥率および地盤高の季節変化を図 6-2-1-1、図 6-2-1-2 に、含泥率および地盤高の水平分布を図 6-2-1-3、図 6-2-1-4 にそれぞれ示す。

干潟別に含泥率および地盤高の概要を以下に示す。

(1) 河口干潟

河口干潟全体の含泥率の平均値は、春季、秋季ともに 8%程度であり、砂分を主体としていた。ヨシ原以外の含泥率の平均値は春季、秋季ともに 6%程度あるのに対し、ヨシ原内の平均値は春季が 26.2%、秋季が 18.7%と泥分が多かった。水平的な分布傾向は、右岸側の干潟部やヨシ原で含泥率が 5%以上となる地点が多く分布するものの、その他の地点は概ね 5%未満の低い値を示した。この傾向は春季と秋季に大きな変化は認められなかった。

河口干潟全体の地盤高の平均値は、春季、秋季ともに約 1.2m であり、大きな変化は認められなかった。また、ヨシ原内は、春季、秋季ともにヨシ原外より平均値で 0.6m 程度高かった。水平的な地盤高の分布傾向も、春季と秋季に大きな変化は認められなかった。

(2) 住吉干潟

住吉干潟全体の含泥率の平均値は、春季が 48.8%、秋季が 47.9%であり、河口干潟と比較すると泥分が多かった。ヨシ原以外の平均値は春季、秋季ともに 44%程度であるのに対し、ヨシ原内の平均値は春季が 71.1%、秋季が 67.1%であり、河口干潟と同様にヨシ原内において泥分が多かった。

住吉干潟全体の地盤高の平均値は、春季、秋季ともに約 0.9m であり、大きな変化は認められなかった。また、ヨシ原内は、ヨシ原外より平均値で春季、秋季ともに約 0.6m 高かった。水平的な地盤高の分布傾向も、春季と秋季に大きな変化は認められなかった。

以上のように住吉干潟は、含泥率が河口干潟に比べて高く、泥質系の干潟であることが確認された。また、河口干潟と同様に、春季と秋季で含泥率や地形に大きな変化は認められなかった。

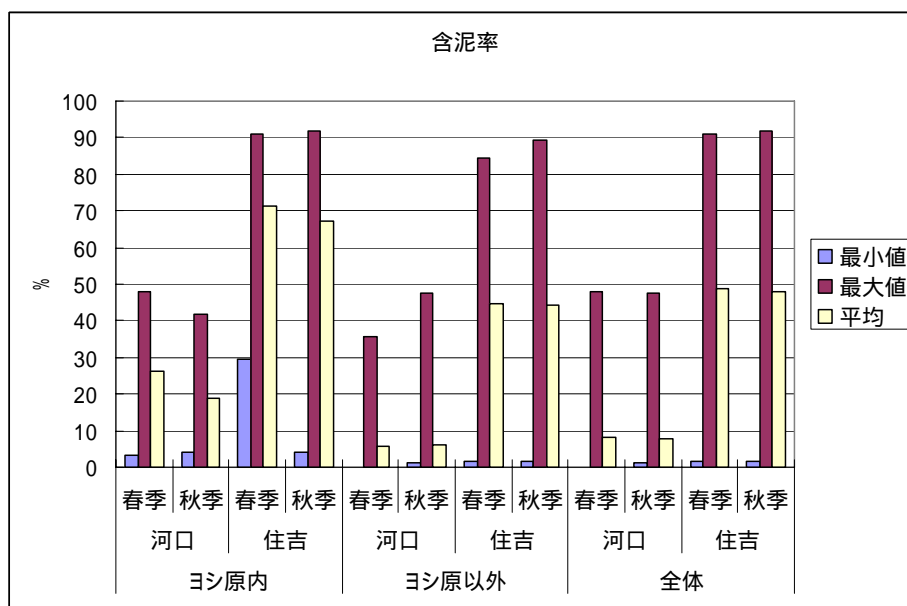


図 6-2-1-1 含泥率の季節変化

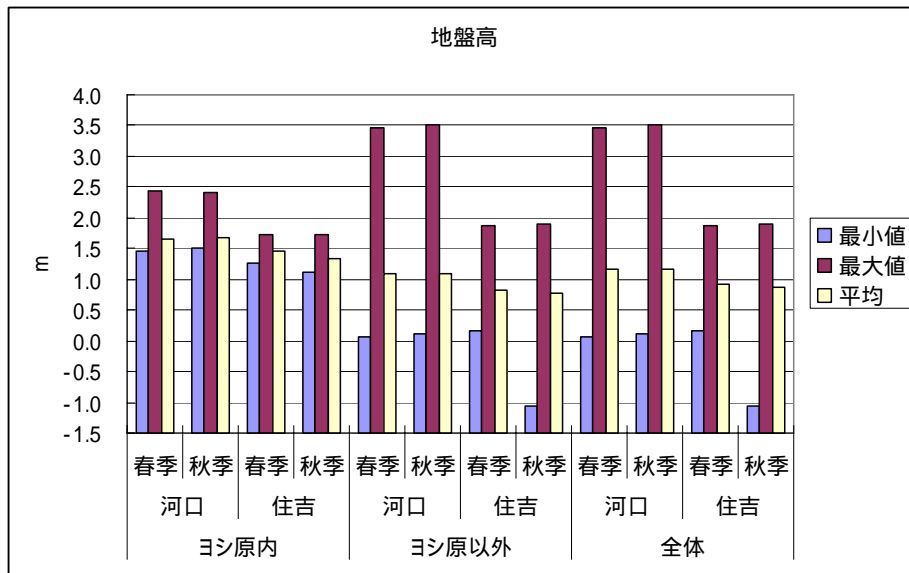


図 6-2-1-2 地盤高の季節変化

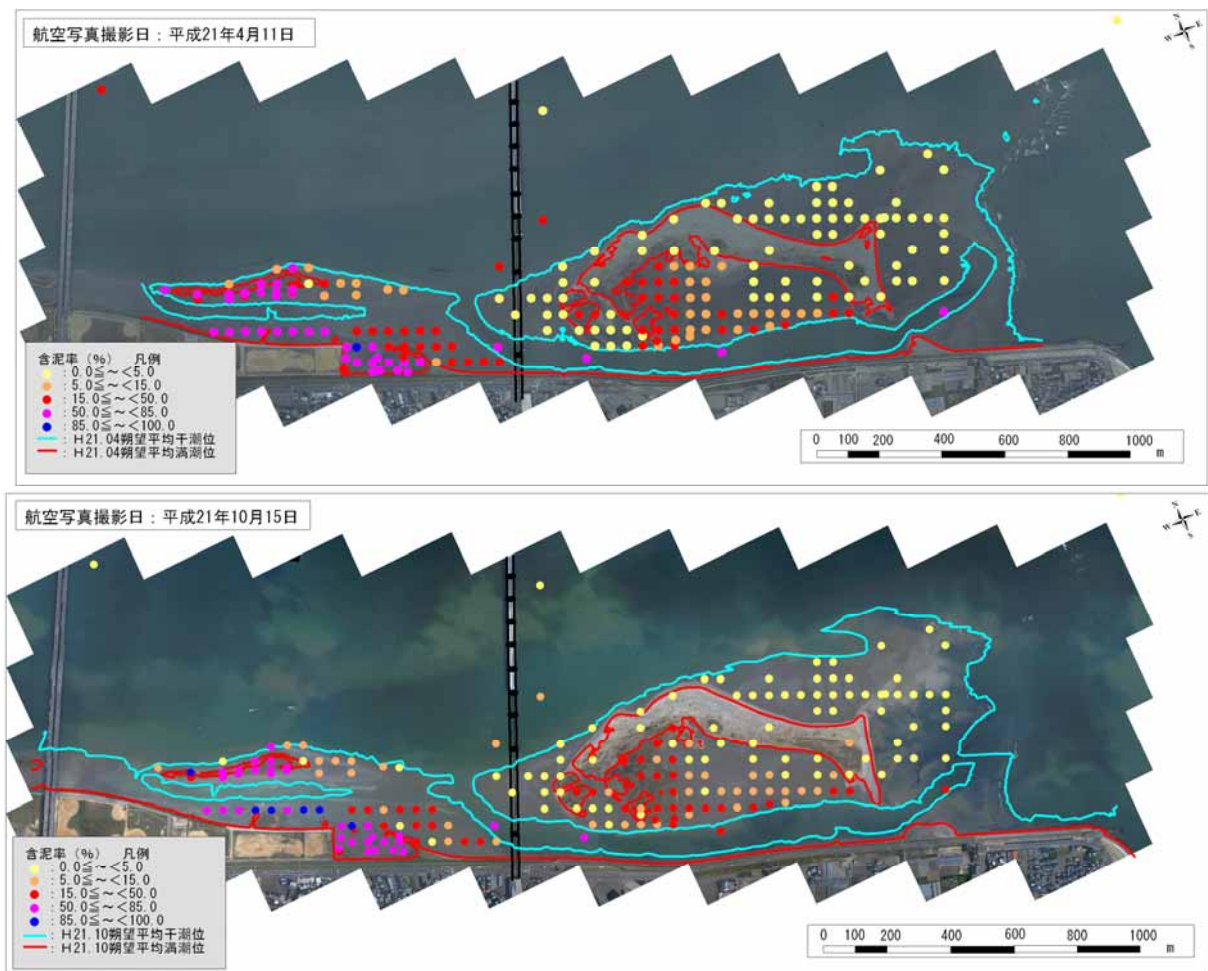


図 6-2-1-3 基盤環境調査 含泥率の水平分布

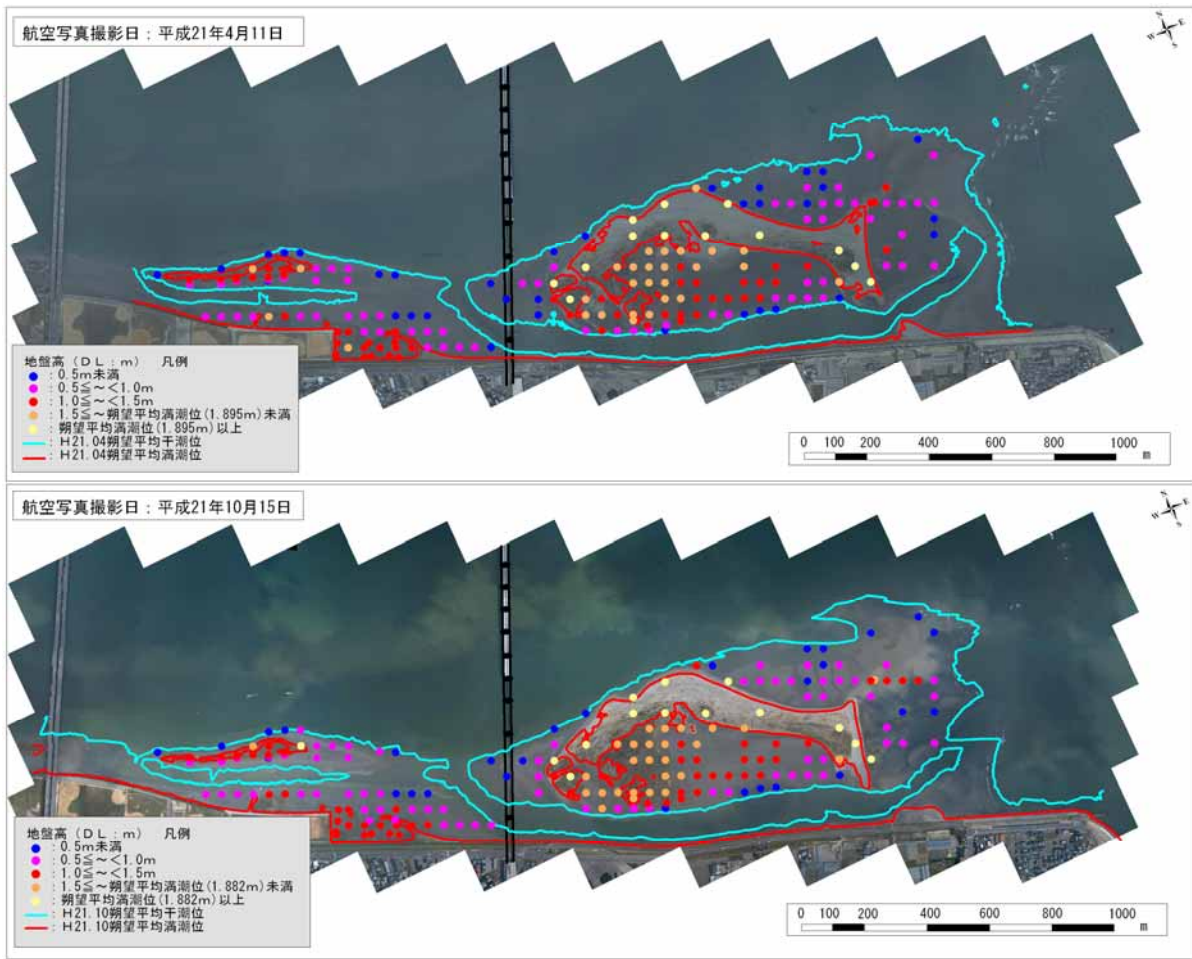


図 6-2-1-4 基盤環境調査 地盤高の水平分布

6-2-2 平成 21 年度に確認された底生生物

平成 21 年度の底生生物調査および魚類調査で確認された底生生物の概要を表 6-2-2-1 に、採取された調査項目別の確認種を表 6-2-2-2 に示す。確認された底生生物（魚類：脊椎動物門を除く）は 12 門 369 種であり、このうち本年度新たに確認された種は 143 種であった。

また、魚類は 15 種確認され、このうち底生性の種はネズッコ科、ハゼ科、ヒラメ科、カレイ科などの 13 種であった。

干潟上の調査地点でのみ確認された底生生物は 98 種、干潟周辺河床の調査地点でのみ確認された底生生物は 174 種、両方の調査地点で確認された底生生物は 108 種であった。

動物門別では、カニ、エビ類を含む節足動物門が 130 種と最も多く、次いで貝類などの軟体動物門が 106 種、ゴカイなどの環形動物門が 100 種であった。

表 6-2-2-1 確認された底生生物の概要

動物門	干潟上でのみ確認された種	干潟周辺河床域でのみ確認された種	干潟上、周辺の両地域で確認された種	全確認種
海綿動物門(カイコ類)	2	0	0	2
刺胞動物門(イソギンチャクなど)	1	3	1	5
扁形動物門	0	0	1	1
紐型動物門(ヒモムシ類など)	0	1	2	3
星口動物門(ホシムシ類など)	0	2	0	2
環形動物門(ゴカイ類など)	5	64	31	100
触手動物門(コケムシ類など)	0	4	1	5
軟体動物門(貝類など)	27	44	36	106
節足動物門(カニ、エビ類など)	63	46	31	130
棘皮動物門(ヒトデ、ナマコなど)	0	5	5	10
半索動物門(ギボシムシ類)	0	1	0	1
原索動物門(ホヤ類)	0	4	0	4
合計	98	174	108	369
脊椎動物門(魚類)	4	10	1	15

注 1) 干潟確認種は干潟上で行った調査（指標種調査、ヨシ原調査、定量調査）で確認された生物を、河床域確認種は干潟周辺の河床域を対象として行った調査（ガザミ類採取、浅海域河床底質調査、ウモレマメガニ分布調査）で確認された生物を示す。

2) 種類の計数は、同定結果が属や科止まりの種については、その属や科に含まれる種が出現していない場合のみ 1 種として計数した。

表 6-2-2-2(1) 平成 21 年度に確認された底生生物

No.	分類群						平成21年度						
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ 30原調査	30原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレマカニ 分布調査	魚類調査
1	海綿動物	普通海面	イソカイメン	イソカイメン	イソカイメン属	<i>Halichondria</i> sp.							
2			ガラカイメン	ガラカイメン	ガラカイメン属	<i>Callyspongia</i> sp.							
3	刺胞動物	ヒトコ虫	軟クラゲ	ウミサカツキガヤ	ウミサカツキガヤ科	Campanulariidae							
4		花虫	イソキンチャク	ムシモトキキンチャク	ムシモトキキンチャク科	Edwardsiidae							
-				-	イソキンチャク目	Actiniaria							
5		海綿	ウミサボテン	ウミサボテン		<i>Cavernularia obesa</i>							
6			ヤナキウミエラ	ヤナキウミエラ	ヤナキウミエラ科	Virgulariidae							
7			ハナキンチャク	ハナキンチャク	マダラハナキンチャク	<i>Cerianthus punctatus</i>							
-					ハナキンチャク科	Cerianthidae							
8	扁形動物	渦虫	多岐腸	-	多岐腸目	Polycladida							
9	紐形動物	ヒモムシ	ツブラヌス	-	ツブラヌス目	Palaeonemertea							
10			ヒモムシ	リネウス	リネウス科	Lineidae							
11		ハリヒモムシ	ハリヒモムシ	-	ハリヒモムシ目	Hoplonemertea							
-					紐形動物門	Nemertinea							
12	星口動物	スジホシムシ	フクロホシムシ	スジホシムシ	スジホシムシ科	Sipunculidae							
13				フクロホシムシ	クロホシムシ	<i>Thysanocardia nigra</i>							
-					フクロホシムシ科	Golfingiidae							
-					星口動物門	Sipuncula							
14	環形動物	多毛	サンバゴカイ	ウロコムシ	-	<i>Harmothoe</i> sp.							
15				ノリウロコムシ	-	<i>Sthenelais</i> sp.							
16					-	<i>Sthenolepis</i> sp.							
-					ノリウロコムシ科	Sigalionidae							
17				サンバゴカイ	-	<i>Anaitides</i> sp.							
18					-	<i>Eteone</i> sp.							
19					-	<i>Eumida</i> sp.							
20					-	<i>Mysta</i> sp.							
21					-	<i>Phyllococe</i> sp.							
22				カギコカイ	-	<i>Pilargis</i> sp.							
23					-	<i>Sigambra</i> sp.							
24				カギアシコカイ	カギアシコカイ	<i>Paralacydonia paradoxa</i>							
25				オトヒメコカイ	-	<i>Gyptis</i> sp.							
26					-	<i>Nereimyra</i> sp.							
27					-	<i>Ophiodromus</i> sp.							
28				ゴカイ	コケゴカイ	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>							
29					-	<i>Hediste</i> sp.							
30					-	<i>Leonnates</i> sp.							
31					アシナゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>							
32					オウキゴカイ	<i>Nectoneanthes latipoda</i>							
33					-	<i>Nereis</i> sp.							
34					スナイゴカイ	<i>Perinereis nuntia brevicirris</i>							
35					ツルビゴカイ	<i>Platynereis bicanaliculata</i>							
36					カニゴカイ	<i>Tambalagamia fauveli</i>							
37					イトメ	<i>Tylorrhynchus heterochaetus</i>							
-					ゴカイ科	Nereidae							
38				シロガネゴカイ	トウヨウシロガネゴカイ	<i>Aglaophamus sinensis</i>							
-					-	<i>Aglaophamus</i> sp.							
39					コブシロガネゴカイ	<i>Micronephthys sphaerocirrata orientalis</i>							
40					ハヤテシロガネゴカイ	<i>Nephtys caeca</i>							
41					コクチョウシロガネゴカイ	<i>Nephtys californiensis</i>							
42					コクテンシロガネゴカイ	<i>Nephtys neopolybranchia</i>							

注) : 平成 21 年度に新たに確認された生物を示す。

表 6-2-2(2) 平成 21 年度に確認された底生生物

No.	分類群						平成21年度									
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ 3原調査	3原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレマゴニ 分布調査	魚類調査			
43	(環形動物)	(多毛)	(サシゴカイ)	(シロガネゴカイ)	コハシロガネゴカイ	<i>Nephtys oligobranchia</i>										
44					ミナシロガネゴカイ	<i>Nephtys polybranchia</i>										
-					-	<i>Nephtys</i> sp.										
45							チロリ	-	<i>Glycera</i> sp.							
46									ヒナサキチロリ	<i>Hemipodus yenourensis</i>						
47								ニカイチロリ	-	<i>Glycinde</i> sp.						
48									-	<i>Goniada</i> sp.						
49								タンザクゴカイ	ナガタンザクゴカイ	<i>Bhawania goodei</i>						
-									タンザクゴカイ科	Chrysopetalidae						
50								ホウセキウロコムシ	ホウセキウロコムシ	<i>Acoetes</i> sp.						
51							イソメ	キボシイソメ	カタマカリキボシイソメ	<i>Scoletoma longifolia</i>						
52									コアシキボシイソメ	<i>Scoletoma nipponica</i>						
-									-	<i>Scoletoma</i> sp.						
-									キボシイソメ科	Lumbrineridae						
53								ナナテイソメ	スコカイイソメ	<i>Diopatra bilobata</i>						
54								コイソメ	-	<i>Schistomeringos</i> sp.						
55							ホコサキゴカイ	ホコサキゴカイ	ナガホコムシ	<i>Haploscoloplos elongatus</i>						
56									-	<i>Naineris</i> sp.						
57									-	<i>Scoloplos</i> sp.						
58							スビオ	スビオ	ケンサキスビオ	<i>Aonides oxycephala</i>						
59									-	<i>Boccardiella</i> sp.						
60									-	<i>Dipolydora</i> sp.						
61									-	<i>Paraprionospio</i> sp.TypeA						
62									-	<i>Paraprionospio</i> sp.TypeB						
63									-	<i>Polydora</i> sp.						
64									ヤマトスビオ	<i>Prionospio japonica</i>						
65									マクスビオ	<i>Prionospio paradisea</i>						
66									フタエラスビオ	<i>Prionospio sexoculata</i>						
67									イトエラスビオ	<i>Prionospio pulchra</i>						
68									エーレルシスビオ	<i>Prionospio ehlersi</i>						
-									-	<i>Prionospio</i> sp.						
69									-	<i>Pseudopolydora</i> sp.						
70									-	<i>Rhynchospio</i> sp.						
71					-	<i>Scolelepis</i> sp.										
72					-	<i>Spio</i> sp.										
73					エラナシスビオ	<i>Spiophanes bombyx</i>										
74					スズエラナシスビオ	<i>Spiophanes kroeyeri</i>										
-					スビオ科	Spionidae										
75				モロテゴカイ	モロテゴカイ	<i>Magelona japonica</i>										
-					-	<i>Magelona</i> sp.										
76				ツハサゴカイ	ムキワラムシ	<i>Mesochaetopterus japonicus</i>										
-					ツハサゴカイ科	Chaetopteridae										
77				ミスヒキゴカイ	ミスヒキゴカイ	-										
78						<i>Chaetozone</i> sp.										
79						<i>Cirriformia tentaculata</i>										
-						<i>Tharyx</i> sp.										
-						ミスヒキゴカイ科	Cirratulidae									
80				ヒトエラゴカイ	ヒメエラゴカイ	-										
81						<i>Aricidea</i> sp.										
82				ダルマゴカイ	ダルマゴカイ	ダルマゴカイ										
83				イトゴカイ	イトゴカイ	-										
						<i>Capitella</i> sp.										

注) : 平成 21 年度に新たに確認された生物を示す。

表 6-2-2-2(3) 平成 21 年度に確認された底生生物

No.	分類群						平成21年度									
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ ヨシ原調査	ヨシ原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレマカニ 分布調査	魚類調査			
84	(環形動物)	(多毛)	(イトコカイ)	(イトコカイ)	-	<i>Heteromastus</i> sp.										
85					-	<i>Mediomastus</i> sp.										
86					-	<i>Notomastus</i> sp.										
-							イトコカイ科		Capitellidae							
87							タケフシコカイ	ナガオタケフシコカイ	<i>Praxillella pacifica</i>							
-								Euclymeninae亜科	Euclymeninae							
-								タケフシコカイ科	Maldanidae							
88							タマシゴカイ	タマシゴカイ	<i>Arenicola brasiliensis</i>							
89							チマキコカイ	チマキコカイ	<i>Owenia fusiformis</i>							
90							オフェリアコカイ	オフェリアコカイ	<i>Armandia lanceolata</i>							
-									<i>Armandia</i> sp.							
91									<i>Euzonus</i> sp.							
92							フサゴカイ	ウミサゴムシ	ウミサゴムシ	<i>Lagis bocki</i>						
93									-	<i>Pectinaria</i> sp.						
-									ウミサゴムシ科	Pectinariidae						
94								フサゴカイ	-	<i>Amaeana</i> sp.						
95									-	<i>Amphitrite</i> sp.						
-									アンフトリテ亜科	Amphitritinae						
96									-	<i>Lanice</i> sp.						
97									-	<i>Loimia</i> sp.						
98									-	<i>Lysilla</i> sp.						
99					-	<i>Nicolea</i> sp.										
100					-	<i>Pista</i> sp.										
101					-	<i>Polycirrus</i> sp.										
-					ホリキルス亜科	Polycirrinae										
102					-	<i>Streblosoma</i> sp.										
-					フサゴカイ科	Terebellidae										
103				カザリコカイ	カザリコカイ	<i>Amphicteis gunneri</i>										
-					カザリコカイ科	Ampharetidae										
104				タマグシフサゴカイ	ニセタマグシフサゴカイ	<i>Terebellides kobei</i>										
105			ケヤリ	ケヤリ	-	<i>Chone</i> sp.										
106					-	<i>Euchone</i> sp.										
107					ロウトケヤリ	<i>Myxicola infundibulum</i>										
108					-	<i>Pseudopotamilla</i> sp.										
-					ケヤリ科	Sabellidae										
109				カンザシコカイ	エゾカサネカンザシ	<i>Hydroides ezoensis</i>										
-					カンザシコカイ科	Serpulidae										
110			ウミケムシ	ウミケムシ	-	<i>Linopherus</i> sp.										
111			ハホウキコカイ	ハホウキコカイ	-	<i>Brada</i> sp.										
112		貧毛	ナガミズ	フトミズ	イソミズ	<i>Pontodrilus matsushimensis</i>										
113		ヒル	吻蛭	ウオビル	ウオビル科	Piscicolidae										
114	触手動物	筍虫	筍虫	ホウキムシ	-	<i>Phoronis</i> sp.										
115		コケムシ	唇口	カクグチコケムシ	-	<i>Hippopodina</i> sp.										
116				アミメコケムシ	アミメコケムシ科	Membraniporidae										
117				テングコケムシ	テングコケムシ科	Petraliellidae										
-					-	Cheilostomata										
118		腕足	無穴	シャミセンガイ	ミドリシャミセンガイ	<i>Lingula anatina</i>										
119	軟体動物	腹足	カサガイ	ユキノカサガイ	ヒメコザラガイ	<i>Patelloida pygmaea</i>										
120			原始腹足	ニシキウスガイ	キサゴ	<i>Umbonium costatum</i>										
121				アマオブネガイ	ヒロクチカノコガイ	<i>Neritina cornucopia</i>										

注) : 平成 21 年度に新たに確認された生物を示す。

表 6-2-2-2(4) 平成 21 年度に確認された底生生物

No.	分類群						平成21年度								
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ 33原調査	33原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレマカニ 分布調査	魚類調査		
122	(軟体動物)	(腹足)	中腹足	タマキビガイ	マルウス'ラタマキビガイ	<i>Littoraria articulata</i>									
123							タマキビガイ	<i>Littorina brevicula</i>							
124							ミス'ゴマツホ'	エド'カワミス'ゴマツホ'	<i>Stenothyra edogawaensis</i>						
125							カリハ'ガサガイ	シマメ'ノウフネガイ	<i>Crepidula onyx</i>						
126							タマガイ	アダ'ムス'タマガイ	<i>Cryptonatica adamsiana</i>						
127								ネコガイ	<i>Eunaticina papilla papilla</i>						
128								ツメタガイ	<i>Glossaulax didyma</i>						
-								タマガイ科	Naticidae						
129							カワグ'チツホ'	ワカウ'ラツホ'	<i>Iravadia sakaguchii</i>						
130							サザ'ナミツホ'	サザ'ナミツホ'	<i>Elachisina ziczac</i>						
131							カワザ'ンショウガイ	クリイ'ロカワザ'ンショウ	<i>Angustassiminea castanea</i>						
132								カワザ'ンショウ	<i>Assiminea japonica</i>						
133								ムシヤド'リカワザ'ンショウ	<i>Assiminea parasitologica</i>						
134								ヒラド'カワザ'ンショウ	<i>Assiminea hiradoensis</i>						
-								カワザ'ンショウガイ属	<i>Assiminea</i> spp.						
-							カワザ'ンショウガイ科	Assimineidae							
135						リソツホ'	-	<i>Lucidestea</i> sp.							
-							リソツホ'科	Rissoidea							
136						ウミミナ	ホソウ'ミナ	<i>Batillaria cumingi</i>							
137						フトヘ'ナタリガイ	ヘナ'タリガイ	<i>Cerithidea cingulata</i>							
138							カワ'アイガイ	<i>Cerithidea djadjariensis</i>							
139							フトヘ'ナタリガイ	<i>Cerithidea rhizophorarum</i>							
140						オニ'ツノガイ	シマ'ハマツホ'	<i>Australaba picta</i>							
141						スナ'モチツホ'	シマ'モチツホ'	<i>Eufenella rufocincta</i>							
142						イソ'コハクガイ	シラ'キ'クガイ	<i>Pseudoliotia pulchella</i>							
143						-	ミス'シタダ'ミ上科	Valvatoidea							
144						ハナ'ゴウナ	ハナ'ゴウナ科	Eulimidae							
145					異腹足	イト'カケガイ	クレ'ハガイ	<i>Epitonium clementinum</i>							
-							イト'カケガイ科	Epitoniidae							
146					新腹足	ア'クキガイ	カ'ゴメガイ	<i>Bedevea birileffi</i>							
147							ア'カニシ	<i>Rapana thomasiana</i>							
-					ア'クキガイ科	Muricidae									
148				フト'コロガイ	ム'ギ'ガイ	<i>Mitrella bicincta</i>									
149					ミ'ニ'ナ'モ'ト'キ	<i>Zafra mitriformis</i>									
150				ム'シ'ロ'ガイ	アラ'ム'シ'ロ'ガイ	<i>Reticunassa festiva</i>									
151					キ'ヌ'ボ'ラ	<i>Reticunassa japonica</i>									
-					ヒ'メ'ム'シ'ロ'属	<i>Reticunassa</i> sp.									
152					ハ'ナ'ム'シ'ロ'ガイ	<i>Zeuxis castus</i>									
153				マ'ク'ラ'ガイ	マ'ク'ラ'ガイ	<i>Oliva mustelina mustelina</i>									
154				ク'ダ'マ'キ'ガイ	ク'ダ'マ'キ'ガイ科	Turridae									
155			腸紐	ト'ウ'ガ'タ'ガイ	カ'キ'ウ'ラ'ク'チ'キ'レ'ガイ'モ'ト'キ	<i>Brachystomia bipyramidata</i>									
156					ヌ'カ'ル'ミ'ク'チ'キ'レ	Gen. et sp.									
-					ト'ウ'ガ'タ'ガイ科	Pyramidellidae									
157				イ'ソ'チ'ドリ	マ'キ'モ'ノ'ガイ	<i>Leucotina diana</i>									
158			頭楯	ス'イ'フ'ガイ	-	<i>Didontoglossa</i> sp.									
-					ス'イ'フ'ガイ科	Cylichnidae									
159				キ'セ'ワ'タ'ガイ	キ'セ'ワ'タ'ガイ	<i>Philine argentata</i>									
160					ヨ'コ'ヤ'マ'キ'セ'ワ'タ	<i>Yokoyamaia ornatissima</i>									
161				ハ'コ'ミ'ツ'ラ'ガイ	マ'ツ'シ'マ'コ'メ'ツ'ブ'	<i>Retusa matsusima</i>									
-					ハ'コ'ミ'ツ'ラ'ガイ科	Retusidae									

注) : 平成 21 年度に新たに確認された生物を示す。

表 6-2-2-2(5) 平成 21 年度に確認された底生生物

No.	分類群						平成21年度						
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ 30原調査	30原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレママガニ 分布調査	魚類調査
162	(軟体動物)	(腹足)	(頭楯)	カノキセワタガイ	カノキセワタガイ	<i>Philinopsis gigliolii</i>							
-					カノキセワタガイ科	Aglajidae							
163				マメウラシマガイ	マメウラシマガイ属	<i>Ringiculina</i> sp.							
164			背楯	カメノコフシエラガイ	ウミクロウ	<i>Pleurobranchaea japonica</i>							
165			無楯	アメフラシ	アメフラシ	<i>Aplysia kurodai</i>							
166			囊舌	-	囊舌目	Sacoglossa							
-			-	-	腹足綱の卵塊	Gastropoda(egg mass)							
167		二枚貝	フネガイ	フネガイ	クイチガイサルボウ	<i>Scapharca inaequivalvis</i>							
168					サルボウ	<i>Scapharca kagoshimensis</i>							
-					サルボウ属	<i>Scapharca</i> sp.							
169			イガイ	イガイ	ホトキスガイ	<i>Musculista senhousia</i>							
170					タマエガイ属	<i>Musculus</i> sp.							
171					ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>							
172					クログチガイ	<i>Xenostrobus atratus</i>							
173					コウロエンカワハリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>							
174			ウゲイガイ	ミノガイ	ウキミノガイ属	<i>Limaria</i> sp.							
-					ミノガイ科	Limidae							
175				ナミガシワガイ	ナミガシワガイ	<i>Anomia chinensis</i>							
176				イタホガキ	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>							
177			マルスタレガイ	シジミ	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>							
178				ウロコガイ	ウロコガイ科	Galeommatidae							
179				マゴコロガイ	マゴコロガイ	<i>Peregrinamor ohshimai</i>							
180				ケシリガイ	ケシリガイ	<i>Alveolus ojanus</i>							
181				ブンブクヤドリガイ	マルヤドリガイ	<i>Montacutona japonica</i>							
-					ブンブクヤドリガイ科	Montacutidae							
182				ザルガイ	チゴトリガイ	<i>Fulvia hungerfordi</i>							
183					トリガイ	<i>Fulvia mutica</i>							
184			マルスタレガイ	オキシジミ		<i>Cyclina sinensis</i>							
185				コタマガイ		<i>Gomphina melanaegis</i>							
186				オキアサリ		<i>Gomphina semicancellata</i>							
-					フキアケアサリ属	<i>Gomphina</i> sp.							
187				ハマグリ		<i>Meretrix lusoria</i>							
-					ハマグリ属	<i>Meretrix</i> sp.							
188				イヨスタレ		<i>Paphia undulata</i>							
189				カガミガイ		<i>Phacosoma japonicum</i>							
190				アサリ		<i>Ruditapes philippinarum</i>							
-					マルスタレガイ科	Veneridae							
191			ハカガイ	ハカガイ		<i>Mactra chinensis</i>							
192				チヨハナガイ		<i>Raetellops pulchellus</i>							
-					ハカガイ科	Mactridae							
193			フジノハナガイ	フジノハナガイ		<i>Chion semigranosa</i>							
194				キュウシュウナミノガイ		<i>Latona kiusiuensis</i>							
195			シオサザナミガイ	イソシジミ		<i>Nuttallia japonica</i>							
196				ハサクラガイ		<i>Psammotaea minor</i>							
197				オチハガイ		<i>Psammotaea virescens</i>							
198				アシベマスオガイ		<i>Soletellina petalina</i>							
-					シオサザナミガイ科	Psammobiidae							
199			アサシガイ	ミジノコショウシャクシ		<i>Leptomya minuta</i>							
200				シズクガイ		<i>Theora fragilis</i>							
201				サビシラトリガイ		<i>Macoma contabulata</i>							

注) : 平成 21 年度に新たに確認された生物を示す。

表 6-2-2-2(6) 平成 21 年度に確認された底生生物

No.	分類群						平成21年度								
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ 30原調査	30原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレママガニ 分布調査	魚類調査		
202	(軟体動物)	(二枚貝)	(マルスダレガイ)	ニッコウガイ	ヒメシラトリガイ	<i>Macoma incongrua</i>									
203				ゴイサキガイ	<i>Macoma tokyoensis</i>										
-							シラトリガイ属	<i>Macoma</i> sp.							
204							トカリウシオガイ	<i>Moerella culter</i>							
205							ユウシオガイ	<i>Moerella rutila</i>							
-							モモハナガイ属	<i>Moerella</i> sp.							
206							ウスザクラガイ	<i>Nitidotellina minuta</i>							
207							サクラガイ	<i>Nitidotellina nitidula</i>							
-							ニッコウガイ科	Tellinidae							
208							ハナグモリガイ	ハナグモリガイ	<i>Glauconome chinensis</i>						
209							チドリマスオガイ	クチハガイ	<i>Coecella chinensis</i>						
-							チドリマスオガイ科	Mesodesmatidae							
210							ユキノアシタガイ	ミゾガイ	<i>Siliqua pulchella</i>						
211							マテガイ	マテガイ	<i>Solen strictus</i>						
-							マテガイ属	<i>Solen</i> sp.							
212							ツキガイ	イセシラガイ	<i>Anodontia stearnsiana</i>						
213							ウメハナガイ	ウメハナガイ	<i>Pillucina pisidium</i>						
-							ツキガイ科	Lucinidae							
214							ハナシガイ	マルハナシガイ	<i>Leptaxinus oyamai</i>						
215							フタバシラガイ	フタバシラガイ科	Ungulinidae						
216							チリハキガイ	チリハキガイ	<i>Lasaea undulata</i>						
-							チリハキガイ科	Lasaeidae							
217						オオノガイ	オオノガイ	ヒメマスホウガイ	<i>Cryptomya busoensis</i>						
218								オオノガイ	<i>Mya arenaria oonogai</i>						
219					クシケマスオガイ	<i>Venatomya truncata</i>									
220			ウミタケガイモドキ	オキナガイ	オキナガイ	<i>Laternula anatina</i>									
221					ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>									
222				スエモノガイ	スエモノガイ科	Thraciidae									
223			キヌタレガイ	キヌタレガイ	キヌタレガイ	<i>Petrasma pusilla</i>									
224		頭足	ダンゴイカ	ダンゴイカ	ダンゴイカ科	Sepiolidae									
225	節足動物	甲殻	ミオドコーハ	-	ミオドコーハ 亜目	Myodocopina									
226			完胸	フジツボ	タテシマフジツボ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>									
227					アメリカフジツボ	<i>Amphibalanus eburneus</i>									
228					ヨーロッパフジツボ	<i>Amphibalanus improvisus</i>									
229					シロスジフジツボ	<i>Fistrobalanus albicostatus</i>									
230					ドロフジツボ	<i>Fistrobalanus kondakovi</i>									
231					サンカクフジツボ	<i>Balanus trigonus</i>									
232			コノハエビ	コノハエビ	コノハエビ	<i>Nebalia japonensis</i>									
-					コノハエビ科	Nebaliidae									
233			アミ	アミ	ハマアミ属	<i>Acanthomysis</i> sp.									
234					アルケオミシス属	<i>Archaeomysis</i> sp.									
235					クオイサザアミ	<i>Neomysis awatschensis</i>									
236					シリエラ属	<i>Siriella</i> sp.									
-					アミ科	Mysidae									
237			クーマ	カザリクーマ	カザリクーマ科	Lampropidae									
238				クーマ	ミツオビクーマ	<i>Diastylis tricineta</i>									
239					サザナミクーマ属	<i>Dimorphostylis</i> sp.									
-					クーマ科	Diastylidae									
240				ナギサクーマ	ナギサクーマ属	<i>Bodotria</i> sp.									
241			等脚	スナウミナナフシ	スナウミナナフシ属	<i>Cyathura</i> sp.									

注) : 平成 21 年度に新たに確認された生物を示す。

表 6-2-2-2(7) 平成 21 年度に確認された底生生物

No.	分類群						平成21年度						
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ 31原調査	31原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレマカニ 分布調査	魚類調査
242	(節足動物)	(甲殻)	(等脚)	ヘラムシ	ホソヘラムシ	<i>Cleantoides planicauda</i>							
-					ホソヘラムシ属	<i>Cleantoides</i> sp.							
243					ワラジヘラムシ属	<i>Synidotea</i> sp.							
244					スナホリムシ	ヒガタスナホリムシ	<i>Eurydice akiyamai</i>						
-					ナギサスナホリムシ属	<i>Eurydice</i> sp.							
245					ヒメスナホリムシ	<i>Excirrolana chiltoni</i>							
246					コツブムシ	イソコツブムシ属	<i>Gnorimosphaeroma</i> sp.						
247					イワホリコツブムシ	<i>Sphaeroma wadai</i>							
248					ウオノエ	ウオノエ科	Cymothoidae						
249					フナムシ	フナムシ	<i>Ligia exotica</i>						
250					オカダンゴムシ	オカダンゴムシ	<i>Armadillidium vulgare</i>						
251					ハマダンゴムシ	ハマダンゴムシ	<i>Tylos granulatus</i>						
252					端脚	スガメソコエビ	クビナガスガメ	<i>Ampelisca brevicornis</i>					
253					フクロスガメ	<i>Ampelisca naikaiensis</i>							
254					ヒサシソコエビ	スナカキソコエビ属	<i>Harpiniopsis</i> sp.						
-					ヒサシソコエビ科	Phoxocephalidae							
255					マルソコエビ	マルソコエビ属	<i>Urothoe</i> sp.						
256					タテソコエビ	タテソコエビ属	<i>Stenothoe</i> sp.						
257					クチバシソコエビ	クチバシソコエビ属	<i>Monoculodes</i> sp.						
258					サンバツソコエビ属	<i>Synchelidium</i> sp.							
259					メリタソコエビ	メリタソコエビ属	<i>Melita</i> sp.						
260					ハマトビムシ	ヒメハマトビムシ属	<i>Platorchestia</i> sp.						
261					スナハマトビムシ属	<i>Talorchestia</i> sp.							
262					ヒゲナガハマトビムシ	<i>Trinorchestia trinitatis</i>							
-	ハマトビムシ科	Talitridae											
263	モクスソコエビ	ヘッパリモクス属	<i>Allorchestes</i> sp.										
264	ユンボソコエビ	ユンボソコエビ属	<i>Aoroides</i> sp.										
265	ニホンドヨソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>											
-	ドヨソコエビ属	<i>Grandidierella</i> sp.											
266	イシクソコエビ	ソコエビ属	<i>Gammaropsis</i> sp.										
267	オアソソコエビ属	<i>Pareurystheus</i> sp.											
268	クダソコエビ	<i>Photis longicaudata</i>											
269	ヒゲナガソコエビ	ニッポンモハソコエビ	<i>Ampithoe lacertosa</i>										
-	ヒゲナガソコエビ属	<i>Ampithoe</i> sp.											
270	ドロクダムシ	ホソツツムシ	<i>Cerapus tubularis</i>										
271	ドロクダムシ属	<i>Corophium</i> sp.											
272	ホソソコエビ	<i>Erichthonius pugnax</i>											
-	ホソソコエビ属	<i>Erichthonius</i> sp.											
273	-	<i>Siphonoecetes</i> sp.											
274	ワレカラ	テナガワレカラ	<i>Caprella giganteochir</i>										
275	オオワレカラ	<i>Caprella kroyeri</i>											
276	マルエワレカラ	<i>Caprella penantis</i>											
277	トゲワレカラ	<i>Caprella scaura</i>											
-	ワレカラ属	<i>Caprella</i> sp.											
278	-	<i>Monoliropus</i> sp.											
279	トゲソコエビ	テブクソコエビ属	<i>Listriella</i> sp.										
280	アゴナガソコエビ	アゴナガソコエビ属	<i>Pontogeneia</i> sp.										
281	フタハソコエビ	フタハソコエビ属	<i>Atylus</i> sp.										
282	十脚	クルマエビ	ヨシエビ	<i>Metapenaeus ensis</i>									
283	クルマエビ	<i>Penaeus japonicus</i>											

注) : 平成 21 年度に新たに確認された生物を示す。

表 6-2-2-2(8) 平成 21 年度に確認された底生生物

No.	分類群						平成21年度								
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ ヨシ原調査	ヨシ原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレママガニ 分布調査	魚類調査		
-	(節足動物)	(甲殻)	(十脚)	(クルマエビ)	クルマエビ属	<i>Penaeus</i> sp.									
-					クルマエビ科	Penaeidae									
284				サクラエビ	アキアミ	<i>Acetes japonicus</i>									
285				オキエビ	ソコシエビ	<i>Leptocheila gracilis</i>									
286				テッポウエビ	テッポウエビ	<i>Alpheus brevicristatus</i>									
287				オニテッポウエビ	オニテッポウエビ	<i>Alpheus digitalis</i>									
288				マンゴローブテッポウエビ	マンゴローブテッポウエビ	<i>Alpheus euphrosyne richardsoni</i>									
-				テッポウエビ属	テッポウエビ属	<i>Alpheus</i> sp.									
289				セジロムラサキエビ	セジロムラサキエビ	<i>Athanas japonicus</i>									
-				ムラサキエビ属	ムラサキエビ属	<i>Athanas</i> sp.									
290				クホミテッポウエビ	クホミテッポウエビ	<i>Chelomalpheus koreanus</i>									
-				テッポウエビ科	テッポウエビ科	Alpheidae									
291				ツノエビ	ツノエビ	<i>Ogyrides orientalis</i>									
292				モエビ	ツノモエビ属	<i>Heptacarpus</i> sp.									
293				ヒラツノモエビ	ヒラツノモエビ	<i>Latreutes planirostris</i>									
294				テナガエビ	シラタエビ	<i>Exopalaemon orientis</i>									
295				テナガエビ属	テナガエビ属	<i>Macrobrachium</i> sp.									
296				スジエビモドキ	スジエビモドキ	<i>Palaemon serrifer</i>									
-				スジエビ属	スジエビ属	<i>Palaemon</i> sp.									
-				テナガエビ科	テナガエビ科	Palaemonidae									
297				エビシヤコ	エビシヤコ属	<i>Crangon</i> sp.									
-				コエビ下目(ゾエア期幼生)	コエビ下目(ゾエア期幼生)	Caridea(zoea)									
298				ハサミシヤコエビ	ハサミシヤコエビ	<i>Laomedia astacina</i>									
299				アナシヤコ	ヨコヤアナシヤコ	<i>Upogebia yokoyai</i>									
-				アナシヤコ属	アナシヤコ属	<i>Upogebia</i> sp.									
-				アナシヤコ科	アナシヤコ科	Upogebiidae									
300				スナモグリ	ハルマンスナモグリ	<i>Callianassa harmandi</i>									
301				ニホンスナモグリ	ニホンスナモグリ	<i>Callianassa japonica</i>									
-				スナモグリ属	スナモグリ属	<i>Callianassa</i> sp.									
-				スナモグリ科	スナモグリ科	Callianassidae									
302				コシオリエビ	トウヨウコシオリエビ	<i>Galathea orientalis</i>									
303				ヤドカリ	トゲツノヤドカリ	<i>Diogenes edwardsii</i>									
-				ツノヤドカリ属	ツノヤドカリ属	<i>Diogenes</i> sp.									
304				ホンヤドカリ	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>									
-				ホンヤドカリ属	ホンヤドカリ属	<i>Pagurus</i> sp.									
-	ホンヤドカリ科	ホンヤドカリ科	Paguridae												
305	カニダマシ	フトウデネジレカニダマシ	<i>Pisidia serratifrons</i>												
306	ヤドリカニダマシ	ヤドリカニダマシ	<i>Polyonyx sinensis</i>												
307	ヒシガニ	ヒシガニ科	Parthenopidae												
308	カラッパ	アミキンセンガニ	<i>Matuta planipes</i>												
309	キンセンガニ	キンセンガニ	<i>Matuta victor</i>												
-	キンセンガニ属	キンセンガニ属	<i>Matuta</i> sp.												
310	クモガニ	ヨツハモガニ	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>												
311	イッカククモガニ	イッカククモガニ	<i>Pyromaia tuberculata</i>												
312	コブシガニ	マメコブシガニ	<i>Pyrhila pisum</i>												
-	マメコブシガニ属	マメコブシガニ属	<i>Pyrhila</i> sp.												
313	イチョウガニ	イホイチョウガニ	<i>Cancer gibbosulus</i>												
314	ワタリガニ	イシガニ	<i>Charybdis japonica</i>												
-	イシガニ属	イシガニ属	<i>Charybdis</i> sp.												
315	ヒメガザミ	ヒメガザミ	<i>Portunus hastatoides</i>												

注) : 平成 21 年度に新たに確認された生物を示す。

表 6-2-2-2(9) 平成 21 年度に確認された底生生物

No.	分類群					平成21年度										
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ ヨシ原調査	ヨシ原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレメマガニ 分布調査	魚類調査			
316	(節足動物)	(甲殻)	(十脚)	(ワリガニ)	タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>										
317					ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>										
-					ガザミ属	<i>Portunus sp.</i>										
318				カレガニ	ラスハソメマガニ	<i>Pinnixa rathbuni</i>										
319					フタバピンノ	<i>Pinnotheres bidentatus</i>										
320				ウモレメマガニ	<i>Pseudopinnixa carinata</i>											
321				ヨコナガピンノ	<i>Tritodynamia japonica</i>											
322				スナガニ	ムツハアリアケガニ	<i>Camptandrium sexdentatum</i>										
323					アリアケトドキ	<i>Deiratonotus cristatus</i>										
324					チコガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>										
325					オサガニ	<i>Macrophthalmus abbreviatus</i>										
326					ヒメヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus banzai</i>										
327					ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>										
-					オサガニ属	<i>Macrophthalmus sp.</i>										
328					ナンヨウスナガニ	<i>Ocypode sinensis</i>										
-					スナガニ属	<i>Ocypode sp.</i>										
329					コムツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>										
330				シオマネキ	<i>Uca arcuata</i>											
331				ハクセンシオマネキ	<i>Uca lactea</i>											
332				イワガニ	トリウミアカイソトドキ	<i>Acmaeopleura toriumii</i>										
333					ハマガニ	<i>Chasmagnathus convexus</i>										
334					アカテガニ	<i>Chiromantes haematocheir</i>										
335					ウモレハンケイガニ	<i>Clistocoeloma sinense</i>										
336					モクスガニ	<i>Eriocheir japonicus</i>										
337					ヒライソガニ	<i>Gaetice depressus</i>										
338					ヒメアシハラガニ	<i>Helicana japonica</i>										
339					アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>										
-					アシハラガニ属	<i>Helice sp.</i>										
340					スネナガイソガニ	<i>Hemigrapsus longitarsis</i>										
341					ケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>										
342					ヒメケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus sinensis</i>										
343					タカノケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>										
-					イソガニ属	<i>Hemigrapsus sp.</i>										
344				カクハンケイガニ	<i>Parasesarma pictum</i>											
345	クシテガニ	<i>Parasesarma plicatum</i>														
346	ユビアカハンケイガニ	<i>Parasesarma tripectinis</i>														
347	フタバカガニ	<i>Perisesarma bidens</i>														
-	カクハンケイガニ属	<i>Parasesarma sp.</i>														
-	ハンケイガニ亜科	Sesarminae														
-	イワガニ科	Grapsidae														
348	オウキガニ	マキトラノオガニ	<i>Pilumnus makianus</i>													
-		短尾下目(メガロパ期幼生)	Brachyura (megalopa)													
-		短尾下目	Brachyura													
-		十脚目	Decapoda													
349	昆虫	カイシンコ	Philomedidae	-	<i>Euphilomedes sp.</i>											
350		タナシ	タナシ	ゼウク属	<i>Zeuxo sp.</i>											
351		半翅	-	半翅目	Hemiptera											
352		双翅	アブ	アブ科	Tabanidae											
-		-	-	双翅目(幼虫)	Diptera (larva)											
-	-	-	双翅目(蛹)	Diptera (pupa)												

注) : 平成 21 年度に新たに確認された生物を示す。

表 6-2-2-2(10) 平成 21 年度に確認された底生生物

No.	分類群						平成21年度						
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ ヨシ原調査	ヨシ原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレマカニ 分布調査	魚類調査
353			鞘翅	エンマムシ	エンマムシ科	Histeridae							
354				ハネカクシ	ハネカクシ科	Staphylinidae							
-				-	鞘翅目(幼虫)	Coleoptera (larva)							
355	棘皮動物	蛇尾	閉蛇尾	チビクモヒトデ	チビクモヒトデ属	<i>Ophiactis</i> sp.							
-					チビクモヒトデ科	Ophiactidae							
356				スナクモヒトデ	カキクモヒトデ	<i>Amphioplus japonicus</i>							
-					スナクモヒトデ科	Amphiuridae							
357				クシハクモヒトデ	クシハクモヒトデ	<i>Ophiura kinbergi</i>							
358				トゲクモヒトデ	トゲクモヒトデ科	Ophiothricidae							
359		海星	キヒトデ	キヒトデ	キヒトデ	<i>Asterias amurensis</i>							
360		海胆	ホンウニ	サンショウウニ	サンショウウニ	<i>Temnopleurus toreumaticus</i>							
361			タコノマクラ	ヨウミヤクカシバン	ハスノハカシバン	<i>Scaphechinus mirabilis</i>							
362			ブンブク	ヒラタブンブク	オカメブンブク	<i>Echinocardium cordatum</i>							
363		海鼠	無足	イカリナマコ	ウチワイカリナマコ	<i>Labidoplax dubia</i>							
-					イカリナマコ科	Synaptidae							
364				クルマナマコ	クルマナマコ科	Chiridotidae							
365	半索動物	ギ'ホ'シムシ	ギ'ホ'シムシ	-	ギ'ホ'シムシ目	Balanoglossida							
-				-	ギ'ホ'シムシ綱	Enteropneusta							
366	原索動物	ホヤ	マメホヤ	ナツメホヤ	ナツメホヤ科	Asciidiidae							
367			マホヤ	シロホヤ	シロホヤ	<i>Styela plicata</i>							
-					シロホヤ科	Styelidae							
368				マホヤ	マホヤ科	Pyuridae							
369				フクロホヤ	カンテンホヤ	<i>Eugyra glutinans</i>							
-					フクロホヤ科	Molgulidae							
				合計			64	4	5	115	94	272	144

注1 [] : 平成21年度に新たに確認された生物を示す。
 2) 種類の計数においては、同定結果が属や科止まりの種については、その属や科に含まれる種が出現していない場合のみ1種として計数した。
 3) 同定に使用した主な文献を以下に示す。

参考文献

岡田要他(1965)「新日本動物図鑑 上・中・下」北隆館
 今島実(1996)「環形動物 多毛類」生物研究社
 今島実(2001)「環形動物 多毛類」生物研究社
 奥谷喬司編著(2000)「日本近海産貝類図鑑」東海大学出版会
 西村三郎編著(1992)「原色検索日本海岸動物図鑑 []」保育社
 西村三郎編著(1995)「原色検索日本海岸動物図鑑 ()」保育社
 三宅貞祥(1982)「原色日本産大型甲殻類図鑑 ()」保育社
 三宅貞祥(1983)「原色日本産大型甲殻類図鑑 ()」保育社
 酒井恒(1976)「日本産蟹類」講談社
 中坊徹次編(2000)「日本産魚類検索 全種の同定 第二版 上・下」東海大学出版会
 千原光雄・村野正昭編著(1997)「日本産海洋フナクワ検索図説」東海大学出版会
 佐藤正典編(2000)「有明海の生き物たち 干潟・河口域の生物多様性」海游舎
 林健一(2007)「日本産エビ類の分類と生態」コエビ下目(1)生物研究社
 波部忠重(1977)「日本産軟体動物分類学 二枚貝綱/堀足綱」北隆館
 Komai, T. and S. Mishima (2003) A redescription of Pagurus minutes Hess, 1865, a senior synonym of Pagurus dubius (Ortmann, 1982) (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae). Benthos Research, 58: 15-30.
 Sato, M. and A. Nakashima (2003) A review of Asian Hediste species complex (Nereidae, Polychaeta) with descriptions of new two species and a redescription of Hediste japonica (Izuka, 1908). Zool. J. Linnean Soc., 137: 403-445.
 Hsueh, P-W. And Huang, J-F. (1996) A new record of Clitocoelema sinense Shen, 1933 from Taiwan (Decapoda, Brachyura, Grapsidae, Sesarminae), with notes on its distribution and ecology. Crustaceana, 69: 63-70.
 Shin-ichi ISHIMARU (1994) A Catalogue of Gammaroidean and Ingolfiellidean Amphipoda Recorded from the Vicinity of Japan. Report of the Sado Marine Biological Station, 24: 29-86.
 鈴木田巨平・福田宏(2003)「カワザンショウ」とされてきた種(軟体動物:腹足綱:カワザンショウ科)の再検討(1)日本ベントス学会講演要旨」日本ベントス学会
 増田修・内山りゅう(2004)「ピーシーズ生態写真図鑑シリーズ2 日本産淡水貝類図鑑 汽水域を含む全国の淡水貝類」ピーシーズ

表 6-2-2-2(11) 平成 21 年度底生生物調査時に確認された魚類

No.	分類群					平成21年度						
	門	綱	目	科	和名	学名	指標種・ 33原調査	33原調査 (微小貝)	ガザミ類 調査	定量調査	浅海域河床 底質調査	ウレマカニ 分布調査
1	脊椎動物	軟骨魚	エイ	アカエイ	アカエイ	<i>Dasyatis akajei</i>						
2		硬骨魚	スズキ	ネズッホ	ネズッホ属	<i>Repomucenus</i> sp.						
3				ハゼ	ヒモハゼ	<i>Eutaeniichthys gilli</i>						
4					イトハゼ	<i>Gymnogobius macrognathos</i>						
5					チクゼンハゼ	<i>Gymnogobius uchidai</i>						
6					ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>						
7					ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>						
8					マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>						
9					マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>						
10					ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>						
11					スジハゼ A	<i>Acentrogobius</i> sp.A						
-					スジハゼ(種不明)	<i>Acentrogobius pflaumii</i>						
12					アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>						
-						ハゼ科	Gobiidae					
13					カレイ	ヒラメ	アラメカレイ属	<i>Tarphops</i> sp.				
14					カレイ	マコカレイ	<i>Pleuronectes yokohamae</i>					
15			フグ	フグ	クサフグ	<i>Takifugu niphobles</i>						
-					硬骨魚綱	Osteichthyes						
種類数合計							0	0	4	5	1	8

注) 種類の計数においては、同定結果が属や科止まりの種については、その属や科に含まれる種が出現していない場合のみ1種として計数した。

6-2-3 指標種調査、ヨシ原調査で確認された干潟上の指標種

指標種調査およびヨシ原調査で確認された表在性指標種の確認状況を表 6-2-3-1 に、指標種以外の種の確認状況を表 6-2-3-2 にそれぞれ示す。

春季調査では、河口干潟では 12 種、住吉干潟では 9 種の表在性指標種が確認された。河口干潟のみで確認された種は、砂浜が主な生息域であるスゴカイイソメ、ホソウミニナおよびヘナタリガイの 3 種であった。

秋季調査では、河口干潟では 10 種、住吉干潟では 9 種の表在性指標種が確認された。河口干潟のみで確認された種は、砂浜が主な生息域であるムギワラムシ、ヘナタリガイの 2 種であった。

春季、秋季ともに、砂質を好むコメツキガニは河口干潟で、砂泥質を好むチゴガニ、ヤマトオサガニおよびシオマネキは住吉干潟で多く確認された。

指標種以外の種では、春季、秋季ともにシロスジフジツボ、クシテガニ、アシハラガニ属等が多数確認された。

表 6-2-3-1(1) 指標種・ヨシ原調査結果総括表【表在性指標種：春季(6月)】

種名	河口干潟		住吉干潟		干潟全体		
	確認地点数	確認個体数	確認地点数	確認個体数	確認地点数	確認個体数	
スゴカイイソメ(棲管)	1	1	0	0	1	1	
ムギワラムシ(棲管)	15	31	1	1	16	32	
ヒロクチカノコガイ	4	22	10	81	14	103	
ホソウミニナ	1	7	0	0	1	7	
ヘナタリガイ	7	261	0	0	7	261	
フトヘナタリガイ	17	685	4	64	21	749	
チゴガニ	10	688	29	3434	39	4122	
オサガニ	中	3	4	9	32	12	36
	小	0	0	1	1	1	1
	総数	3	4	10	33	13	37
ヤマトオサガニ	中	1	1	50	657	52	661
	小	0	0	14	400	14	400
	総数	1	1	33	972	34	973
コメツキガニ	57	1919	11	91	68	2010	
シオマネキ	大	1	1	17	113	18	114
		4	9	27	166	31	175
	中	3	10	18	311	21	321
		2	10	19	420	21	430
	小	0	0	15	330	15	330
総数	6	36	27	1677	33	1713	
ハクセンシオマネキ	中	2	28	5	59	7	87
		3	32	6	51	9	83
	小	5	27	4	113	9	140
		5	28	5	91	10	119
総数	7	115	8	314	15	429	
確認種数	12		9		12		

注1) 2m×2mコドラート内(観察面積4m²)で確認した生物の種別個体数を集計した。

2) カニ類のサイズ区分は次の通りである。

オサガニ、ヤマトオサガニ、ハクセンシオマネキ：中(10mm以上)、小(5~10mm)

シオマネキ：大(20mm以上)、中(10~20mm)、小(5~10mm)

3) 確認地点の総数は、サイズ別や雌雄別の合計値ではなく、対象種が確認された地点数を示す。

表 6-2-3-1(2) 指標種・ヨシ原調査結果総括表【表在性指標種：秋季（9月・10月）】

種名	河口干潟		住吉干潟		干潟全体			
	確認 地点数	確認 個体数	確認 地点数	確認 個体数	確認 地点数	確認 個体数		
スゴカイイソメ（棲管）	0	0	0	0	0	0		
ムギワラムシ（棲管）	10	19	0	0	10	19		
ヒロクチカノコガイ	6	18	11	54	17	72		
ホソウミニナ	0	0	0	0	0	0		
ヘナタリガイ	8	51	0	0	8	51		
フトヘナタリガイ	17	261	4	22	21	283		
チゴガニ	3	40	23	1685	26	1725		
オサガニ	中	5	7	6	8	11	15	
	小	4	4	4	5	8	9	
	総数	8	11	6	13	14	24	
ヤマトオサガニ	中	3	4	47	841	50	845	
	小	2	16	22	1549	24	1565	
	総数	5	20	32	2390	37	2410	
コメツキガニ		44	1138	9	307	53	1445	
シオマネキ	大		6	6	14	50	20	56
			0	0	8	23	8	23
	中		4	4	14	68	18	72
			0	0	14	61	14	61
	小		0	0	2	4	2	4
		不明	0	0	1	4	1	4
総数		9	10	19	215	28	225	
ハクセンシオマネキ	中		8	67	8	115	16	182
			3	30	7	82	10	112
	小		6	13	2	72	8	85
			3	14	4	102	7	116
	不明	1	8	1	1	2	9	
総数		11	132	9	372	20	504	
確認種数		10		8		10		

注1) 2m×2mコドラート内（観察面積4㎡）で確認した生物の種別個体数を集計した。

2) カニ類のサイズ区分は次の通りである。

オサガニ、ヤマトオサガニ、ハクセンシオマネキ：中（10mm以上）、小（5～10mm）

ガザミ類、シオマネキ：大（20mm以上）、中（10～20mm）、小（5～10mm）

3) 確認地点の総数は、サイズ別や雌雄別の合計値ではなく、対象種が確認された地点数を示す。

表 6-2-3-2(1) 指標種・ヨシ原調査結果総括表【その他の確認種：春季(6月)】

種名	河口干潟		住吉干潟		干潟全体		
	確認 地点数	確認 個体数	確認 地点数	確認 個体数	確認 地点数	確認 個体数	
タマシギゴカイ(糞塊)	1	1	0	0	1	1	
キサゴ	2	5	0	0	2	5	
カワアイガイ	1	1	0	0	1	1	
マルウズラタマキビ	1	1	0	0	1	1	
タマキビガイ	0	0	1	1	1	1	
ワカウラツボ	0	0	1	3	1	3	
アラムシロガイ	22	172	14	59	36	231	
カキウラクチキレガイモドキ	0	0	1	8	1	8	
マガキ	0	0	6	162	6	162	
ハマグリ	2	2	0	0	2	2	
シロスジフジツボ	1	22	15	2270	16	2292	
ドロフジツボ	0	0	2	110	2	110	
ハマトビムシ科	4	515	4	146	8	661	
テッポウエビ科	1	1	2	3	3	4	
ハサミシャコエビ	0	0	1	1	1	1	
アナジャコ属	0	0	1	3	1	3	
ユビナガホンヤドカリ	14	27	2	6	16	33	
アリアケモドキ	大	0	0	0	0	0	
	中	0	0	3	3	3	3
	小	0	0	0	0	0	0
	総数	0	0	3	3	3	3
トリウミアカイソモドキ	大	0	0	0	0	0	0
	中	0	0	0	0	0	0
	小	1	1	2	2	3	3
	総数	1	1	2	2	3	3
アカテガニ	大	0	0	0	0	0	0
	中	1	1	1	8	2	9
	小	1	1	1	4	2	5
	総数	2	2	1	12	3	14
アシハラガニ属	大	13	46	24	54	37	100
	中	16	108	27	409	43	517
	小	7	169	10	185	17	354
	総数	20	323	31	648	51	971
タカノケフサイソガニ	大	0	0	0	0	0	0
	中	0	0	4	98	4	98
	小	0	0	2	36	2	36
	総数	0	0	4	134	4	134
ユビアカベンケイガニ	大	0	0	0	0	0	0
	中	9	93	4	87	13	180
	小	8	354	3	57	11	411
	総数	9	447	4	144	13	591
カクベンケイガニ	大	0	0	0	0	0	0
	中	0	0	0	0	0	0
	小	1	1	0	0	1	1
	総数	1	1	0	0	1	1
クシテガニ	大	3	7	13	114	16	121
	中	8	53	15	489	23	542
	小	6	219	14	423	20	642
	総数	8	279	17	1026	25	1305
イワガニ科	小	4	304	10	483	14	787
不明カニ	小	0	0	2	11	2	11
キヒトデ		3	3	0	0	3	3
確認種数	17		19		26		

注1) 2m×2mコドラート内(観察面積4㎡)で確認した生物の種別個体数を集計した。

2) カニ類のサイズ区分は次の通りである。

大(20mm以上)、中(10~20mm)、小(5~10mm)

3) 確認地点の総数は、サイズ別や雌雄別の合計値ではなく、対象種が確認された地点数を示す。

4) 種類の計数においては、同定結果が属や科止まりの種については、その属や科に含まれる種が出現していない場合のみ1種として計数した。

表6-2-3-2 (2) 指標種・ヨシ原調査結果総括表【その他の確認種：秋季(9月・10月)】

種名	河口干潟		住吉干潟		干潟全体	
	確認地点数	確認個体数	確認地点数	確認個体数	確認地点数	確認個体数
多岐腸目	0	0	1	1	1	1
マルウスラタマキヒガイ	2	2	5	7	7	9
アラムシロガイ	14	53	6	7	20	60
マガキ	0	0	4	87	4	87
カガミガイ	1	1	0	0	1	1
アサリ	2	6	0	0	2	6
オキアサリ	5	5	0	0	5	5
ハマグリ	1	1	2	2	3	3
オキシジミ	1	1	0	0	1	1
バカガイ	1	1	0	0	1	1
イソシジミ	2	2	0	0	2	2
ハナクモリガイ	0	0	1	1	1	1
マテガイ	4	10	7	10	11	20
クシケマスオ	1	1	0	0	1	1
ソトオリガイ	0	0	1	1	1	1
シロスジフシツボ	2	28	13	6601	15	6629
フナムシ	0	0	1	1	1	1
オカダンゴムシ	1	4	0	0	1	4
ヨシエビ	1	1	0	0	1	1
クルマエビ科	1	1	1	1	2	2
テッポウエビ科	0	0	12	14	12	14
エビシヤコ属	1	1	0	0	1	1
ハサミシヤコエビ	0	0	3	4	3	4
アナシヤコ属	26	116	19	114	45	230
スナモグリ属	18	101	3	4	21	105
ユビナカボシヤドカリ	21	33	2	4	23	37
大	0	0	0	0	0	0
中	1	1	0	0	1	1
小	0	0	0	0	0	0
総数	1	1	0	0	1	1
タイワンガザミ	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
小	0	0	0	0	0	0
総数	0	0	0	0	0	0
オサガニ属	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	2	5	9	186	11	191
小	2	5	9	186	11	191
総数	4	10	18	372	22	382
ナンヨウスナガニ	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	1	1	0	0	1	1
小	0	0	0	0	0	0
総数	1	1	0	0	1	1
スナガニ属	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	1	1	0	0	1	1
小	0	0	0	0	0	0
総数	1	1	0	0	1	1
アリアケモドキ	0	0	0	0	0	0
大	1	1	1	1	2	2
中	1	1	1	1	2	2
小	0	0	0	0	0	0
総数	2	2	2	2	4	4
トリウミアカイソモドキ	22	44	2	3	24	47
大	0	0	0	0	0	0
中	0	0	1	1	1	1
小	0	0	0	0	0	0
総数	0	0	1	1	1	1
ハマガニ	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
小	0	0	0	0	0	0
総数	0	0	0	0	0	0
ウモレベンケイガニ	1	1	0	0	1	1
大	1	1	0	0	1	1
中	0	0	0	0	0	0
小	0	0	0	0	0	0
総数	1	1	0	0	1	1
ヒライソガニ	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
小	0	0	0	0	0	0
総数	0	0	0	0	0	0
ヒメアシハラガニ	0	0	0	0	0	0
大	3	3	7	23	10	26
中	1	2	3	25	4	27
小	3	5	10	48	13	53
総数	7	10	20	76	27	106
アシハラガニ	11	14	14	41	25	55
大	8	11	11	21	19	32
中	6	7	3	3	9	10
小	14	32	17	65	31	97
総数	28	50	31	99	59	141
アシハラガニ属	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	2	3	4	64	6	67
小	2	3	4	64	6	67
総数	4	6	8	132	12	135
ケフサイソガニ	0	0	0	0	0	0
大	0	0	2	3	2	3
中	0	0	0	0	0	0
小	0	0	0	0	0	0
総数	0	0	2	3	2	3
タカノケアサイソガニ	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	0	0	3	22	3	22
小	0	0	1	11	1	11
総数	0	0	4	33	4	33
インソガニ属	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	1	1	2	2	3	3
小	1	1	2	2	3	3
総数	2	2	4	4	6	6
ユビアカベンケイガニ	2	20	0	0	2	20
大	7	85	1	18	8	103
中	7	143	1	4	8	147
小	10	248	1	22	11	270
総数	24	416	3	44	27	420
カクベンケイガニ	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	3	31	2	14	5	45
小	3	38	2	14	5	52
総数	6	69	4	28	10	103
クシテガニ	9	159	13	103	22	262
大	4	22	6	44	10	66
中	10	240	15	191	25	431
小	0	0	1	1	1	1
総数	24	419	34	336	56	699
フタバカクガニ	0	0	0	0	0	0
大	0	0	1	16	1	16
中	0	0	0	0	0	0
小	0	0	2	17	2	17
総数	0	0	3	33	3	33
イワガニ科	0	0	0	0	0	0
大	0	0	0	0	0	0
中	4	13	2	29	6	42
小	4	13	2	29	6	42
総数	8	26	4	58	12	84
マキトラノオガニ	0	0	0	0	0	0
大	0	0	1	1	1	1
中	0	0	0	0	0	0
小	0	0	0	0	0	0
総数	0	0	1	1	1	1
不明カニ	0	0	0	0	0	0
大	1	12	0	0	1	12
中	1	12	0	0	1	12
小	0	0	0	0	0	0
総数	2	24	0	0	2	24
確認種数	1	30	0	31	1	43

注1) 2m x 2mコドラート内(観察面積4㎡)で確認した生物の種別個体数を集計した。

2) カニ類のサイズ区分は次の通りである。

大(20mm以上)、中(10~20mm)、小(5~10mm)

3) 確認地点の総数は、サイズ別や雌雄別の合計種ではなく、対象種が確認された地点数を示す。

4) 種類の計数においては、同定結果が属や科止まりの種については、その属や科に含まれる種が出現していない場合のみ1種として計数した。

6-2-4 ヨシ原調査結果でのカワザンショウ類観察結果

ヨシ原調査で確認された小型貝類の確認状況を表6-2-4-1に示す。

春季調査では4種が確認された。このうちクリロカワザンショウおよびカワザンショウの確認が多かった。いずれの種も河口干潟、住吉干潟の両方で確認された。

秋季調査では3種が確認された。このうちヒラドカワザンショウおよびクリロカワザンショウの確認が多かった。いずれの種も河口干潟、住吉干潟の両方で確認された。

表 6-2-4-1 ヨシ原調査における小型貝類の確認状況

春季調査(6月)

No.	種名	河口干潟			住吉干潟			干潟全体		
		地点数	個体数	湿重量(g)	地点数	個体数	湿重量(g)	地点数	個体数	湿重量(g)
1	クリロカワザンショウ	11	1208	16.88	10	536	6.00	21	1744	22.88
2	カワザンショウ	9	576	46.00	6	296	12.00	15	872	58.00
3	ムサドリカワザンショウ	2	32	0.24	2	16	0.24	4	48	0.48
4	ヒラドカワザンショウ	7	176	15.36	3	112	6.56	10	288	21.92
-	カワザンショウガイ属	2	96	1.12	2	16	0.00	4	112	1.12
	合計	-	2088	79.60	-	976	24.80	-	3064	104.40
	種数		4			4			4	

秋季調査(9月・10月)

No.	種名	河口干潟			住吉干潟			干潟全体		
		地点数	個体数	湿重量(g)	地点数	個体数	湿重量(g)	地点数	個体数	湿重量(g)
1	クリロカワザンショウ	4	720	9.36	1	112	1.04	5	832	10.40
2	カワザンショウ	4	160	12.32	2	64	2.64	6	224	14.96
3	ヒラドカワザンショウ	6	896	95.52	1	160	14.64	7	1056	110.16
-	カワザンショウガイ属	7	808	60.32	3	192	7.76	10	1000	68.08
-	カワザンショウガイ科	3	32	0.88	0	0	0.00	3	32	0.88
	合計	-	2616	178.4	-	528	26.08	-	3144	204.48
	種数		3			3			3	

注1) 0.25×0.25mコドラート2枠(採取面積0.125m²)で採取した。なお、確認個体数及び湿重量は、1m²あたりの値を換算し、集計したものである。

- 2) カワザンショウ類の分析は以下の文献を参考に行った。
 鈴木田亘平・福田宏(2003)「カワザンショウ」とされてきた種(軟体動物:腹足綱:カワザンショウ科)の再検討(1) 日本ベントス学会講演要旨 日本ベントス学会
 増田修・内山りゅう(2004)「ピーシーズ生態写真図鑑シリーズ2 日本産淡水貝類図鑑 汽水域を含む全国の淡水貝類」ピーシーズ
 奥谷喬司「日本近海産貝類図鑑」東海大学出版会

6-2-5 指標種調査ガザミ類採取結果

籠網により確認した生物の一覧を表6-2-5-1に示す。

春季にはカニ類を1種、秋季にはカニ類を3種、魚類を4種、その他底生生物を2種確認した。

採取された生物のうちガザミ類は、春季にイシガニが8個体、秋季にイシガニが1個体、ガザミが1個体であった。

表 6-2-5-1 ガザミ類調査による確認種

No.	科	種名	St.a		St.b		St.c		St.d		St.e		St.f		St.g		St.h		St.i		
			春季	秋季	春季	秋季	春季	秋季	春季	秋季	春季	秋季	春季	秋季	春季	秋季	春季	秋季	春季	秋季	
1	ムシロガイ	アラムシロガイ			3																
2	ホンヤドカリ	ユビナガホンヤドカリ					1								1						
3	ワタリガニ	イシガニ		2			1	1					1							3	
4		ガザミ													1						
5	イワガニ	Hemigrapsus sp.													5						
6	アカエイ	アカエイ								1											
7	ハゼ	ウロハゼ				1															
8		マハゼ			1		1		1												
9	フグ	クサフグ									1										
計	7科	9種	種数	0	0	1	2	0	3	1	2	0	2	1	-	1	3	0	-	1	0
			合計個体数	0	0	2	4	0	3	1	2	0	2	1	-	1	7	0	-	3	0

注1) 図中の数値は個体数を示す。

2) : 秋季調査時のSt.fおよびSt.hでは、籠網が回収できなかった。

6-2-6 定量調査結果

(1) 春季調査結果

春季調査における種別の合計個体数を干潟毎に図 6-2-6-1 に示す。

底生生物の確認種数は、河口干潟で 62 種、住吉干潟で 64 種、両方の干潟を合わせて 87 種の底生生物が確認された。

個体数でみた河口干潟の優占種は、マルソコエビ属が 2,552 個体、トリウミアカイソモドキが 1,720 個体、スナモグリ属が 744 個体、コメツキガニが 640 個体であった。住吉干潟の優占種は、エドガワミズゴマツボが 2,000 個体、Heteromastus sp. が 600 個体、Glycera sp. が 424 個体、トウガタガイ科およびスナモグリ属が 408 個体であった。

次に、本調査の埋在性指標種の発生状況は、河口干潟および住吉干潟の両方でソトオリガイおよびハマグリが、住吉干潟のみでイトメがそれぞれ確認された。また、表在性指標種は、河口干潟および住吉干潟の両方でヘナタリガイ、チゴガニおよびコメツキガニが、河口干潟のみでスゴカイイソメおよびハクセンシオマネキが、住吉干潟のみでヒロクチカノコガイ、フトヘナタリガイ、オサガニ、ヤマトオサガニおよびシオマネキが確認された。

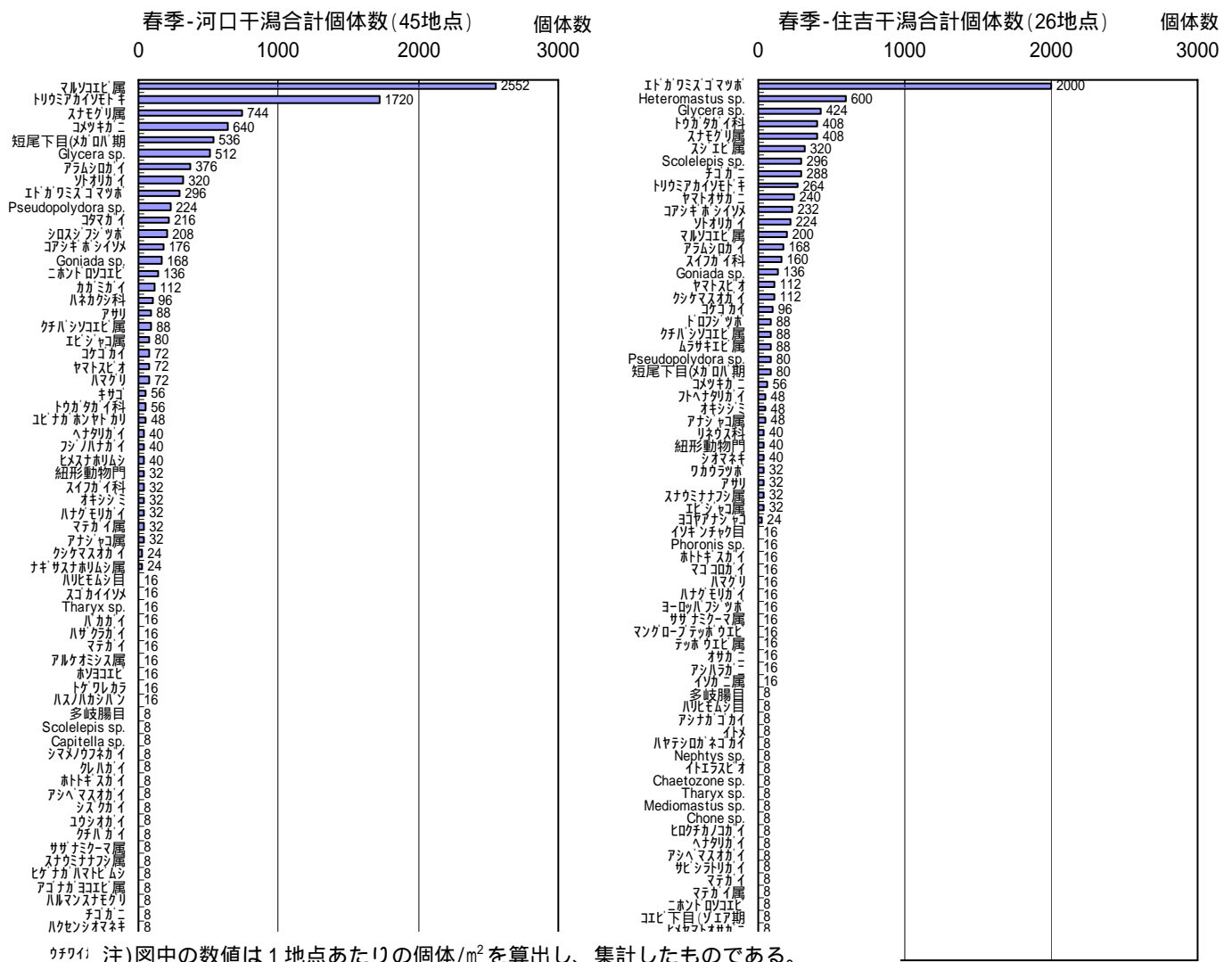


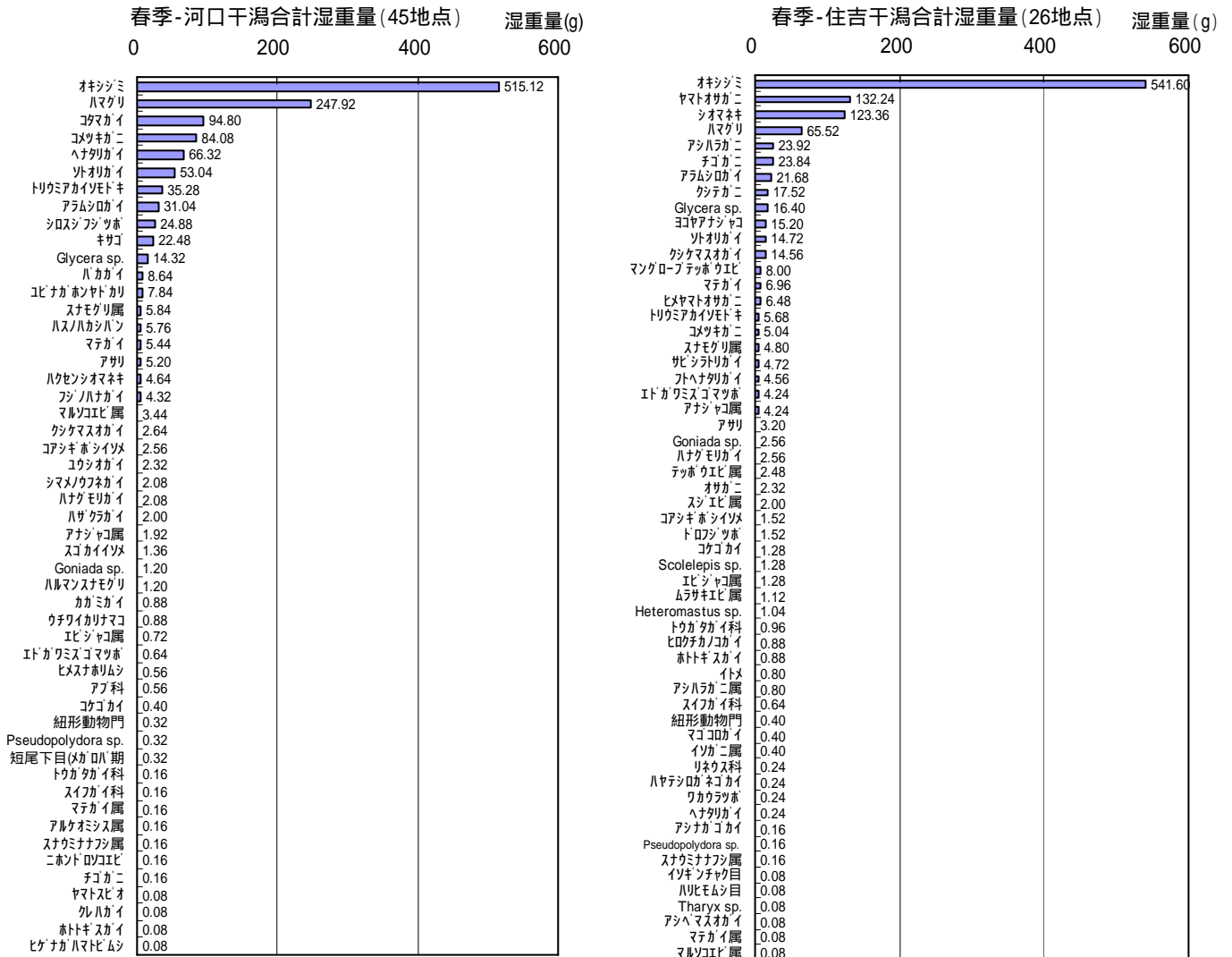
図 6-2-6-1 定量調査・種別合計個体数 (春季調査: 6 月)

春季調査における種別の合計湿重量を干潟毎に図 6-2-6-2 に示す。

湿重量でみた河口干潟の優占種は、オキシジミが 515.12 g、ハマグリが 247.92 g、コタマガイが 94.80 g、コメツキガニが 84.08 g、ヘナタリガイが 66.32 g であった。

住吉干潟の優占種は、オキシジミが 541.60 g、ヤマトオサガニ 132.24 g、シオマネキが 123.36 g、ハマグリが 65.52 g、アシハラガニが 23.92 g であった。

河口干潟、住吉干潟ともにオキシジミ、ハマグリおよびコタマガイ等比較的サイズの大きい種が優占種となっていたが、河口干潟のコメツキガニおよび住吉干潟のヤマトオサガニは、出現個体数が多かったため、合計湿重量が大きくなったと考えられる。



注 1) 図中の数値は 1 地点あたりの g/m² を算出し、集計したものである。

2) 1 地点あたりの湿重量が 0.08 g/m² 未満である種については、集計していない。

図 6-2-6-2 定量調査・種別合計湿重量 (春季調査 : 6 月)

春季調査における種別の確認地点数を干潟毎に図 6-2-6-3 に示す。

河口干潟の確認種では、マルソコエビ属が 29 地点、Glycera sp. が 26 地点、トリウミアカイソモドキが 22 地点、スナモグリ属が 18 地点、アラムシロガイが 16 地点であった。

住吉干潟の確認種では、Glycera sp. が 21 地点、Heteromastus sp. およびスナモグリ属が 15 地点、Goniada sp. およびアラムシロガイが 12 地点であった。

概ね、合計個体数で優占種として挙げられた種が多数の地点で確認された。

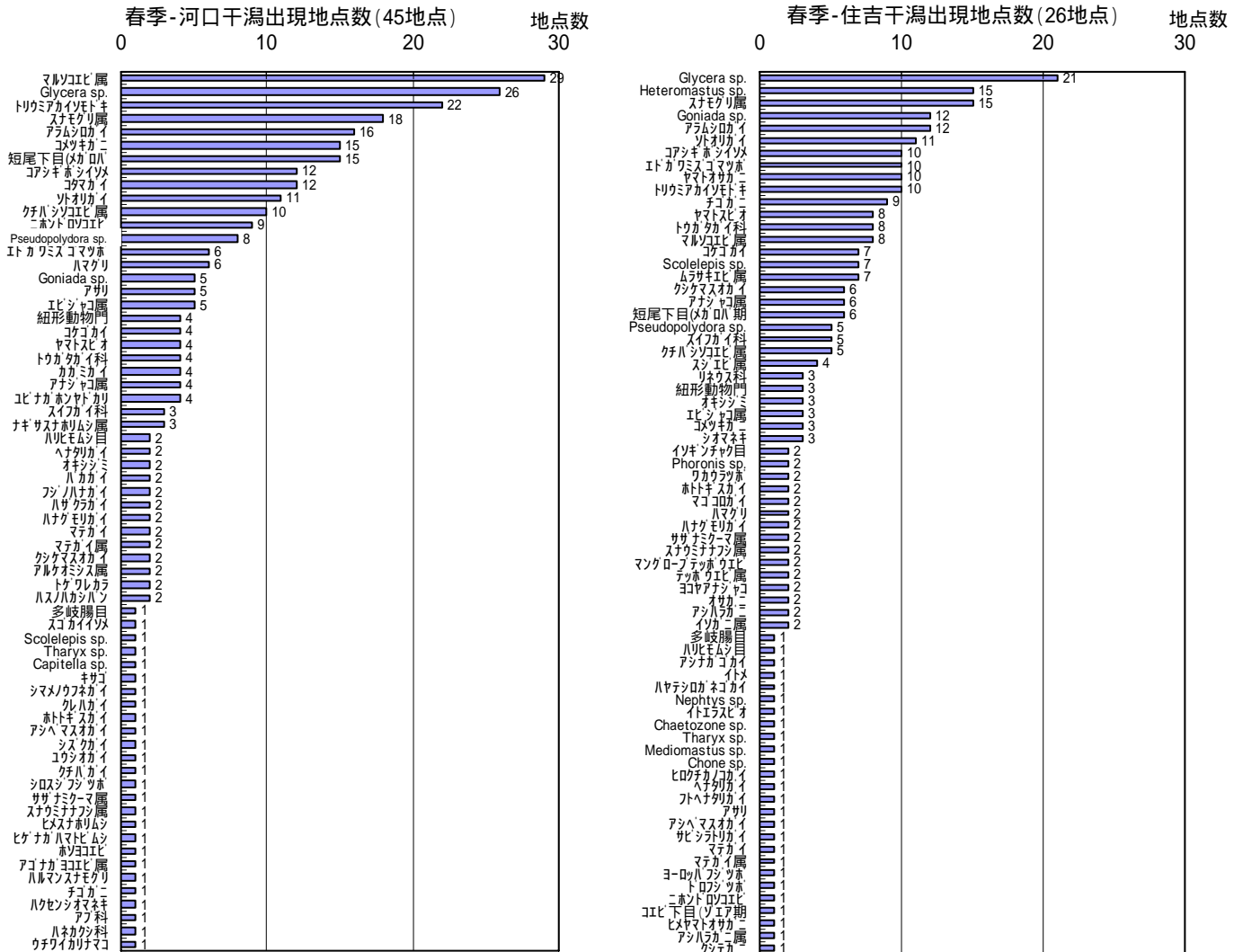


図 6-2-6-3 定量調査・種別確認地点数 (春季調査: 6月)

(2) 秋季調査結果

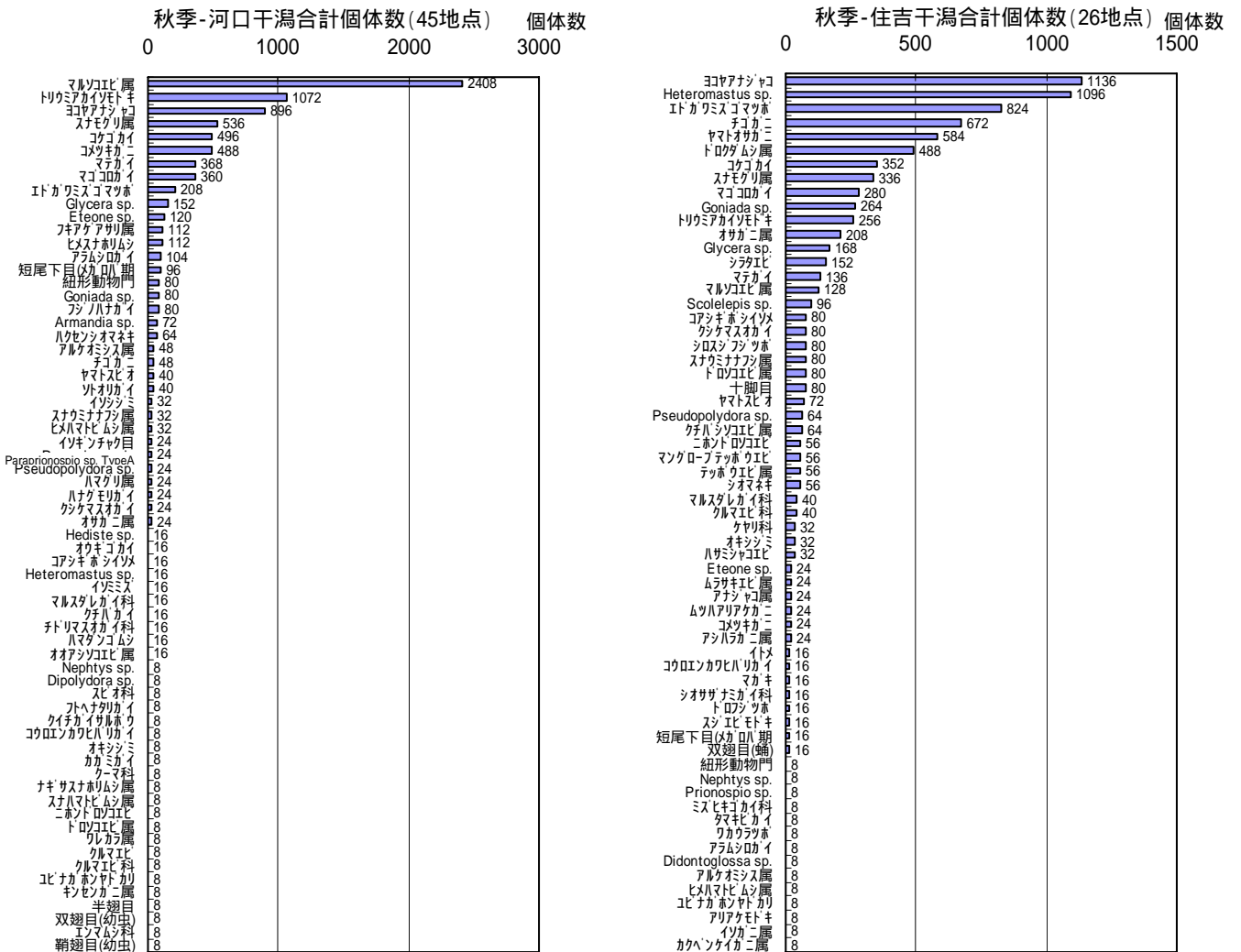
秋季調査における種別の合計個体数を干潟毎に図 6-2-6-4 に示す。

確認種数は、河口干潟で 59 種、住吉干潟で 55 種、両方合わせて 79 種の底生生物が確認された。

個体数でみた河口干潟での優占種は、マルソコエビ属が 2,408 個体、トリウムアカイソモドキが 1,072 個体、ヨコヤアナジャコが 896 個体、スナモグリ属が 536 個体、コケゴカイが 496 個体であった。

住吉干潟の優占種は、ヨコヤアナジャコが 1,136 個体、Heteromastus sp. が 1,096 個体、エドガワミズゴマツボが 824 個体、チゴガニが 672 個体、ヤマトオサガニが 584 個体であった。

次に本調査の埋在性指標種の発生状況は、河口干潟のみでイソシジミおよびソトオリガイが、住吉干潟のみでイトメが確認された。また、表在性指標種の発生状況は、河口干潟および住吉干潟の両方でチゴガニおよびコマツキガニが、河口干潟のみでフトヘナタリガイおよびハクセンシオマネキが、住吉干潟のみでヤマトオサガニおよびシオマネキが確認された。



注) 図中の数値は 1 地点あたりの個体/m²を算出し、集計したものである。

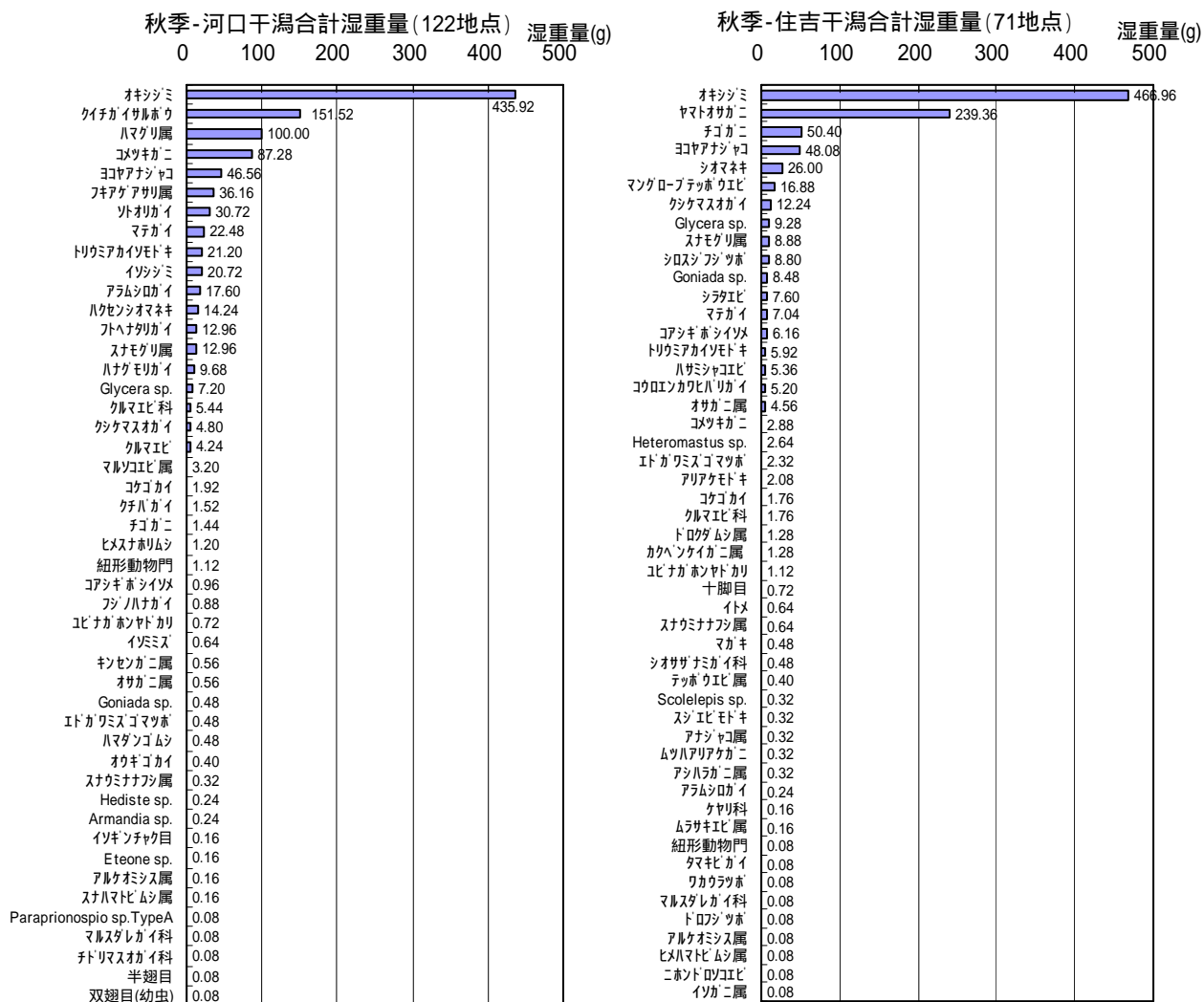
図 6-2-6-4 定量調査・種別合計個体数(秋季調査:9月・10月)

秋季調査における種別の合計湿重量を干潟毎に図 6-2-6-5 に示す。

湿重量でみた河口干潟の優占種は、オキシジミが 435.92 g、クイチガイサルボウが 151.52 g、ハマグリ属が 100.00 g、コメツキガニが 87.28 g、ヨコヤアナジャコが 46.56 g であった。

住吉干潟の優占種は、オキシジミが 466.96 g、ヤマトオサガニが 239.36 g、チョコガニが 50.4 g、ヨコヤアナジャコが 48.08 g、シオマネキが 26.00 g であった。

河口干潟、住吉干潟ともにオキシジミおよびクイチガイサルボウ等比較的サイズの大きい種が優占種となっていたが、河口干潟のコメツキガニおよび住吉干潟のヤマトオサガニは、出現個体数が多かったため、合計湿重量が大きくなったと考えられる。



注 1) 図中の数値は 1 地点あたりの g/m^2 を算出し、集計したものである。

2) 1 地点あたりの湿重量が $0.08 g/m^2$ 未満である種については、集計していない。

図 6-2-6-5 定量調査・種別合計湿重量 (秋季調査: 9 月・10 月)

秋季調査における種別の確認地点数を干潟毎に図 6-2-6-6 に示す。

河口干潟での確認種では、マルソコエビ属が 29 地点、トリウミアカイソモドキが 23 地点、コケゴカイおよびスナモグリ属が 17 地点、ヨコヤアナジャコが 15 地点であった。

住吉干潟での確認種では、Heteromastus sp. が 18 地点、ヨコヤアナジャコが 16 地点、Goniada sp. が 15 地点、Glycera sp. およびスナモグリ属が 13 地点であった。

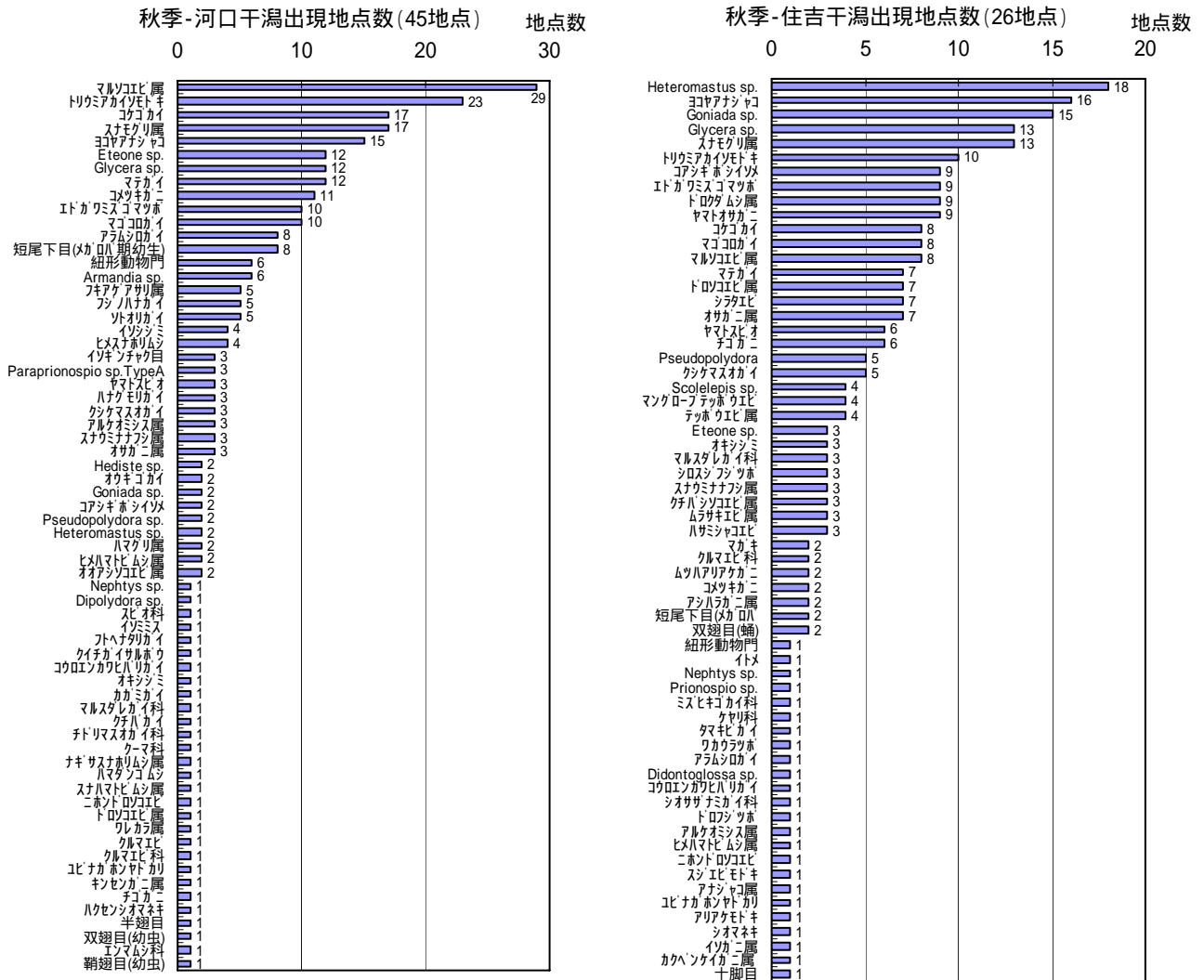


図 6-2-6-6 定量調査・種別確認地点数 (秋季調査: 9月・10月)

6-2-7 魚類調査で確認された底生生物

魚類調査は、定量調査と同じ地点で、かつ同一時期に調査を実施している。採捕漁具は投網、サーフネット、タモ網などを使用し、魚類採集の際に混入した底生生物も調査対象としている。定量的な取り扱いは出来ないが、広い範囲を網で搜索するため、定量調査では確認しにくい底生生物が確認される場合がある。

魚類調査(春季)で採取された底生生物の合計個体数を図 6-2-7-1 に示す。

河口干潟では、103 種、住吉干潟では 83 種の底生生物を確認した。

河口干潟ではアラムシロガイ 3,347 個体、エビジャコ属 2,318 個体、アサリ 742 個体、住吉干潟ではシロスジフジツボ 711 個体、アラムシロガイ 561 個体、エビジャコ属 506 個体といった種が多く確認された。

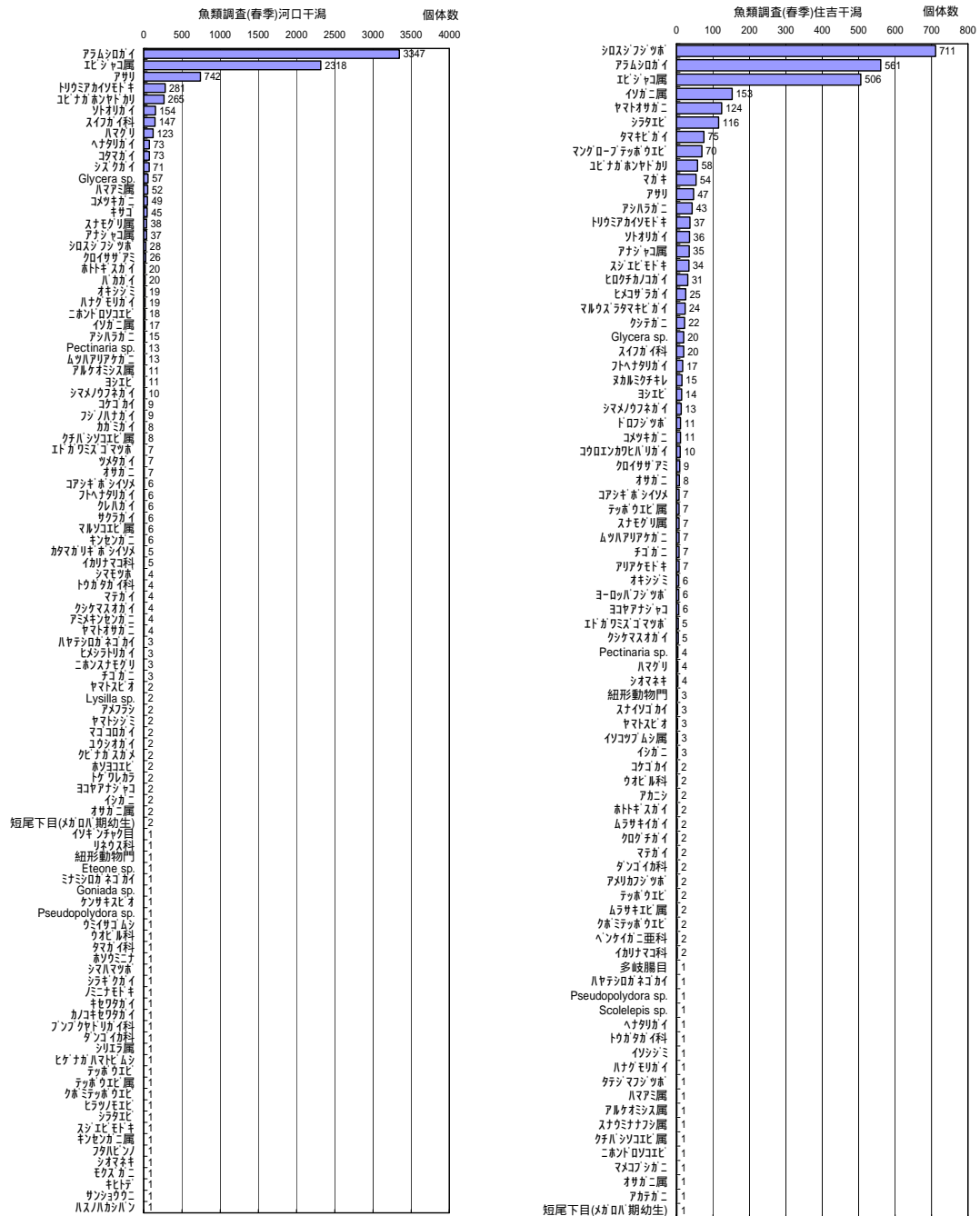


図 6-2-7-1 魚類調査で採取された底生生物の合計個体数 (春季調査: 6 月)

魚類調査（秋季）において採取された底生生物の種別個体数合計を図 6-2-7-2 に示す。

河口干潟では、66 種、住吉干潟では 68 種の底生生物を確認した。

河口干潟ではエビジャコ属 266 個体、アラムシロガイ 205 個体、ガザミ 105 個体、住吉干潟ではシラタエビ 563 個体、シロスジフジツボ 233 個体、エビジャコ属 214 個体といった種が多く確認された。

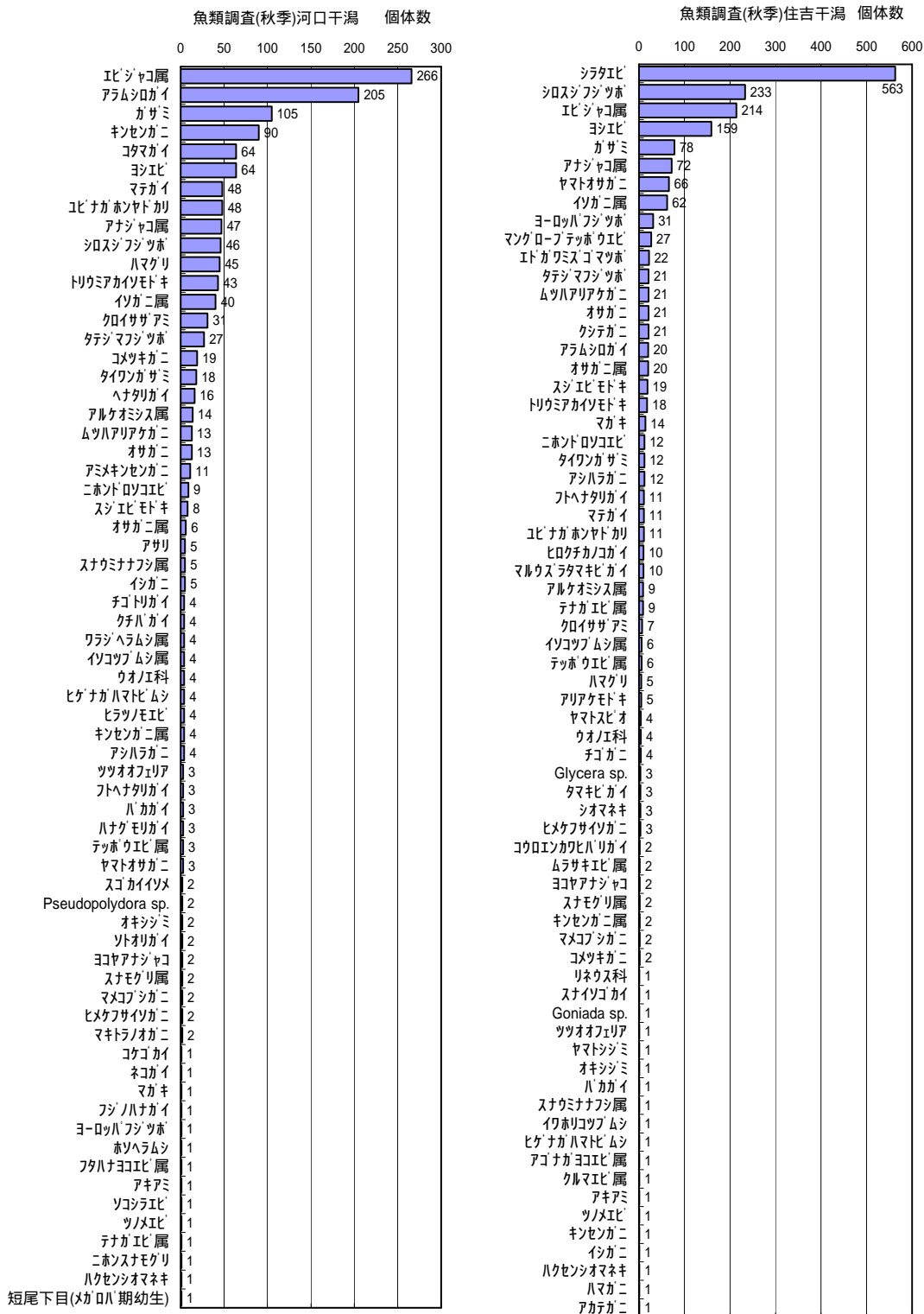


図 6-2-7-2 魚類調査で採取された底生生物の合計個体数（秋季調査：9月）

6-2-8 海藻草類調査結果

海藻草類は、春季および秋季の定量調査時に調査地点周辺の生育状況を確認した。

その結果、干潟上において生育している海藻草類は確認されなかったが、春季にオゴノリが漂着しているのが確認された。

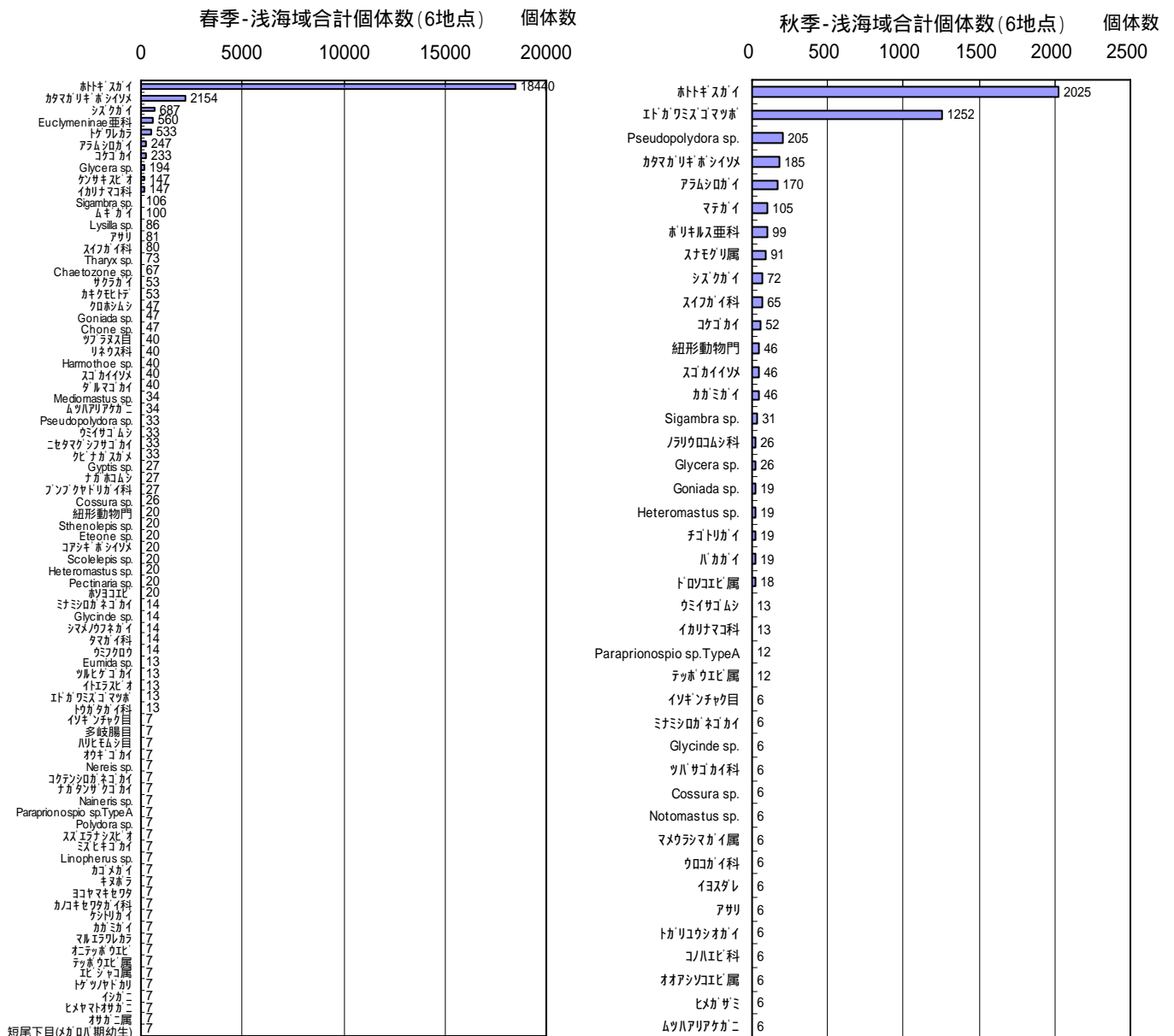
6-2-9 浅海域河床底質調査地点での定量調査

春季および秋季の合計個体数を図 6-2-9-1 に、合計湿重量を図 6-2-9-2 に示す。

底生生物の確認種数は、春季で 79 種、秋季で 41 種であった。

個体数でみた優占種は、春季ではホトトギスガイが 18,440 個体、カタマガリギボシイソメが 2,154 個体、シズクガイが 687 個体、Euclymenine 亜科が 560 個体、トゲワレカラが 533 個体であった。秋季ではホトトギスガイが 2,025 個体、エドガワミズゴマツボが 1,252 個体、Pseudopolydora sp. が 205 個体、カタマガリギボシイソメが 185 個体、アラムシロガイが 170 個体であった。

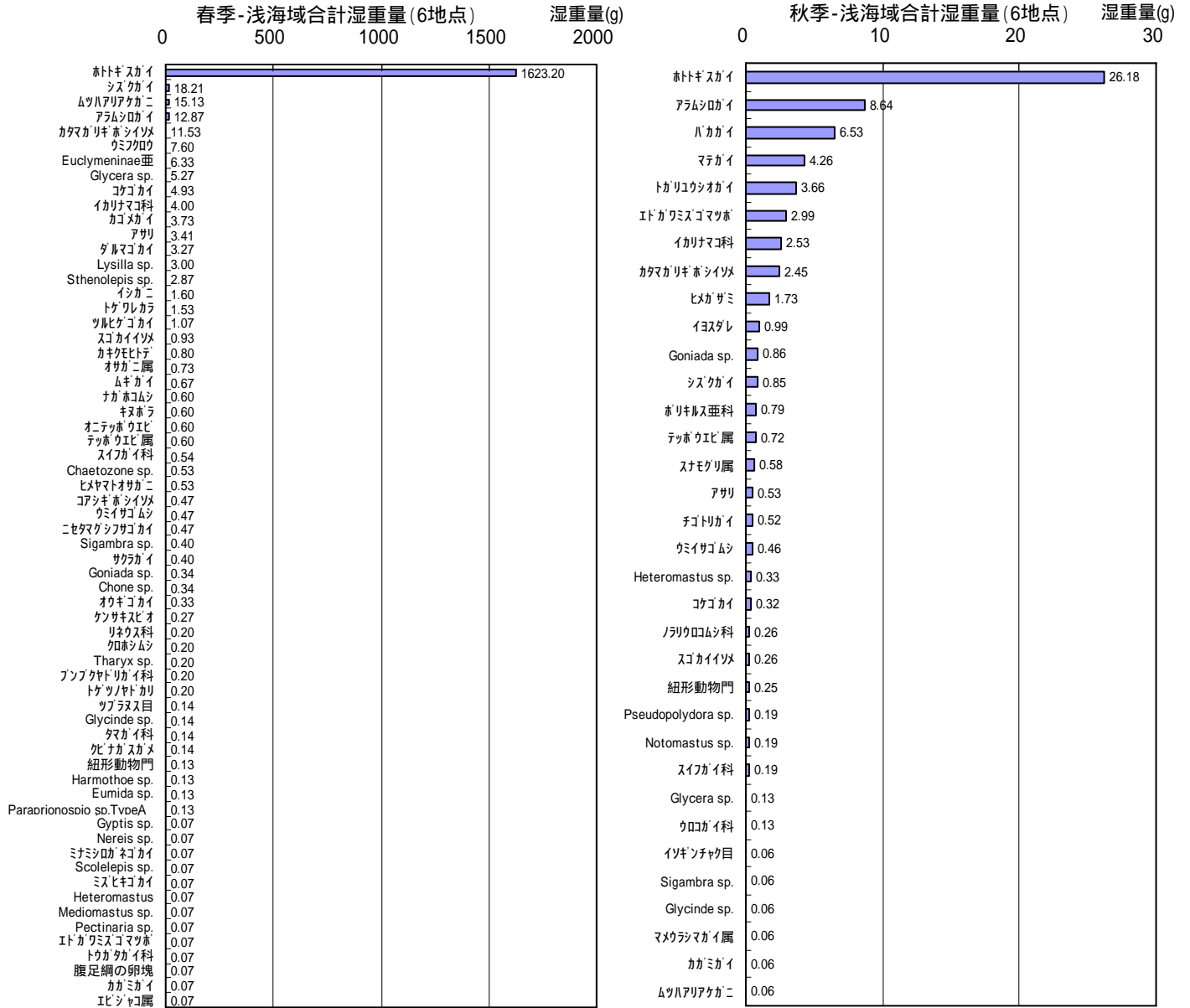
なお、指標種（上位種）であるイシガニ（ガザミ類）が春季に、ヒメガザミ（ガザミ類）が秋季にそれぞれ確認された。また、表在性指標種のスゴカイイソメが春季、秋季ともに確認された。



注) 図中の数値は 1 地点あたりの個体/m²を算出し、集計したものである。

図 6-2-9-1 浅海域河床定量調査・種別合計個体数

湿重量でみた優占種は、春季ではホトトギスガイが 1623.20g、シズクガイが 18.21g、ムツハアリアケガニが 15.13g、アラムシロガイが 12.87g、カタマカリギボシイソメが 11.53g であった。秋季ではホトトギスガイが 26.18g、アラムシロガイが 8.64g、バカガイが 6.53g、マテガイが 4.26g、トガリユウシオガイが 3.66g であった。



注 1) 図中の数値は 1 地点あたりの g/m^2 を算出し、集計したものである。
 2) 1 地点あたりの湿重量が $0.06 g/m^2$ 未満である種については、集計していない。

図 6-2-9-2 浅海域河床定量調査・種別合計湿重量

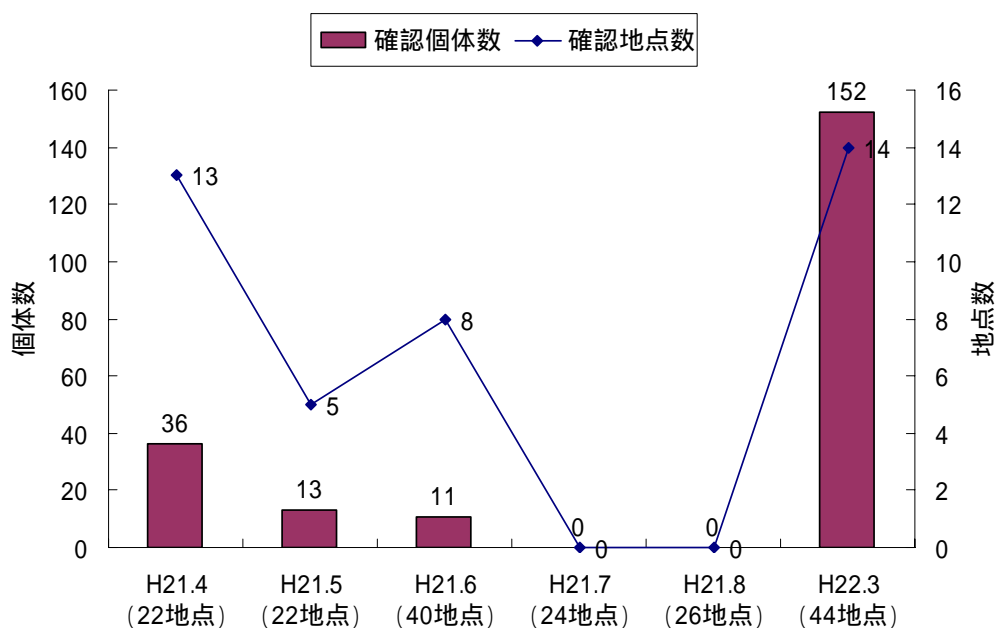
6-2-10 ウモレメメガニ分布調査

(1) ウモレメメガニの確認状況

平成 21 年度におけるウモレメメガニの確認状況を表 6-2-10-1、図 6-2-10-1 に、分布状況を図 6-2-10-2 にそれぞれ示す。

ウモレメメガニは、4 月に 13 地点で 36 個体、5 月に 5 地点で 13 個体、6 月に 8 地点で 11 個体が確認された。7 月および 8 月の調査では確認されなかったが、翌年の 3 月には 14 地点で 152 個体が確認された。

確認地点は、P3 橋脚の上・下流側の本流側を中心に分布していた。上流側では最上流端に設置した住吉干潟の上流端部に位置する U-12 にまで分布し、下流側では河口干潟の中間部に位置する 6-6 までの分布が確認された。また、確認頻度が高い地点や確認個体数が多い地点は P3 橋脚より上流側に多くみられた。



注) 調査年月の下段の括弧内は調査した地点数を示す。

図 6-2-10-1 ウモレメメガニの月別確認状況

表 6-2-10-1 ウモレメマガニの月別確認状況一覧

項目	地点	平成21年					平成22年	個体数 合計
		4月	5月	6月	7月	8月	3月	
詳細調査	1-1	0	0	0	0	0	0	0
	1-2	4	0	2	0	0	25	31
	1-3	0	0	0	0	0	1	1
	2-1	0	0	0	0	0	0	0
	2-2	1	1	3	0	0	16	21
	2-3	0	0	0	0	0	7	7
	3-1	5	0	0	0	0	0	5
	3-3	1	0	0	0	0	0	1
	St.4-1	6	4	1	0	0	9	20
	4-2	4	3	1	0	0	28	36
	4-3	2	0	0	0	0	0	2
	5-1	0	0	0	0	0	0	0
	5-2	0	0	0	0	0	0	0
	5-3	0	0	0	0	0	0	0
	5-4	1	0	1	0	0	0	2
	5-5					0	0	0
	5-6					0	10	10
	6-1	0	0	0	0	0	0	0
	6-2	3	0	1	0	0	6	10
	6-3	1	0	0	0	0	0	1
	6-4	2	0	0	0	0	3	5
	6-5	0	0	0	0	0	0	0
	6-6	1	1	1	0	0	5	8
	U-01	5	4	0	0	0	8	17
7-1				0	0	0	0	
7-2				0	0	0	0	
広域調査	N9			0			0	0
	U-02			0			0	0
	U-03			0			0	0
	U-04			0			0	0
	U-05			0			0	0
	U-06			0			0	0
	U-07			1			10	11
	U-08			0			0	0
	U-09			0			0	0
	U-10			0			0	0
	U-11			0			0	0
	U-12			0			20	20
	U-13			0			0	0
	U-14			0			4	4
	U-15			0			0	0
	U-16			0			0	0
U-17			0			0	0	
U-18			0			0	0	
個体数合計		36	13	11	0	0	152	

注) : ウモレメマガニが確認されていることを示す。

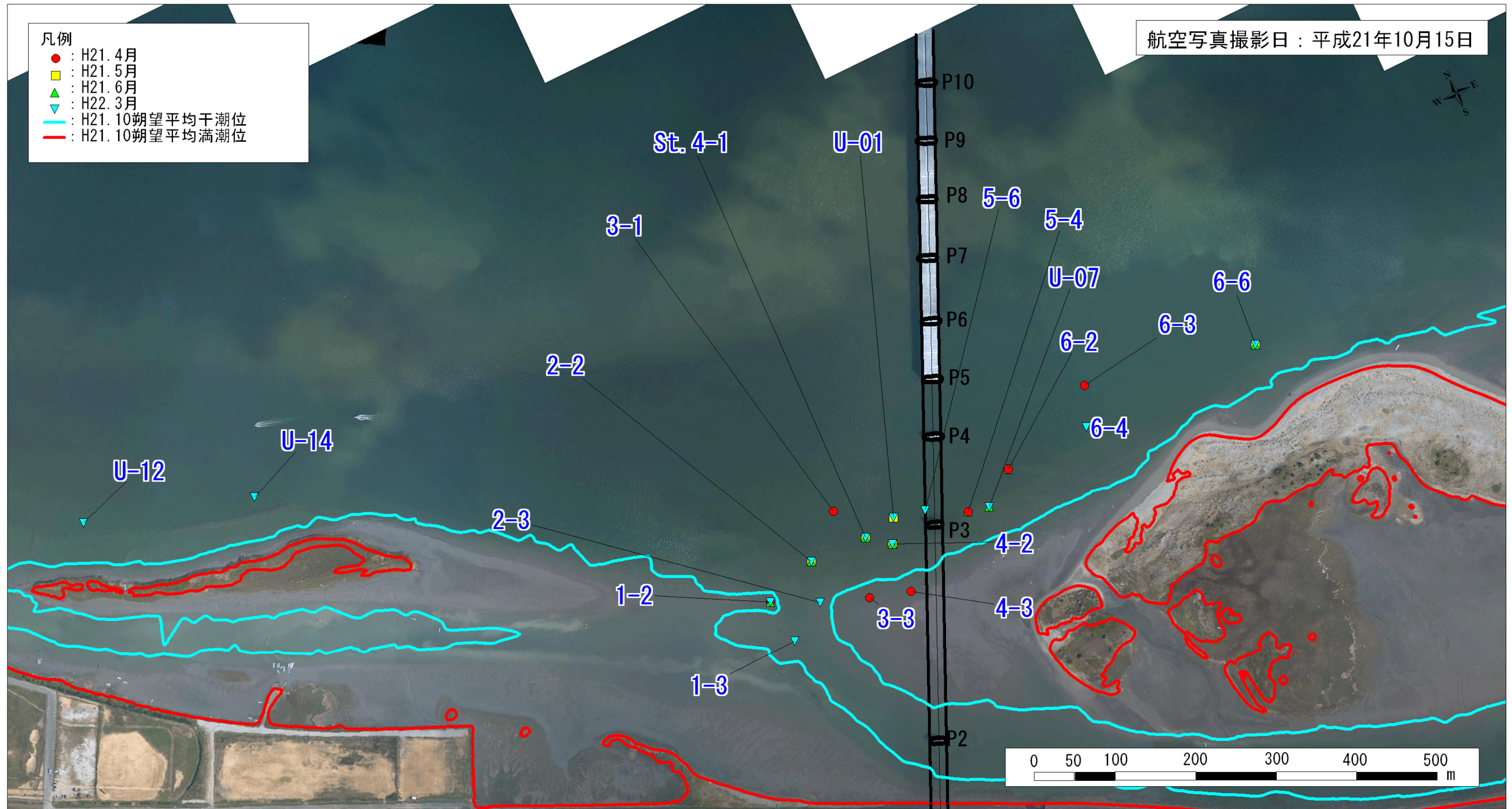


図 6-2-10-2 平成 21 年度 ウモレマメガニ確認地点位置

6-2-11 ウモレメガニの個体サイズ

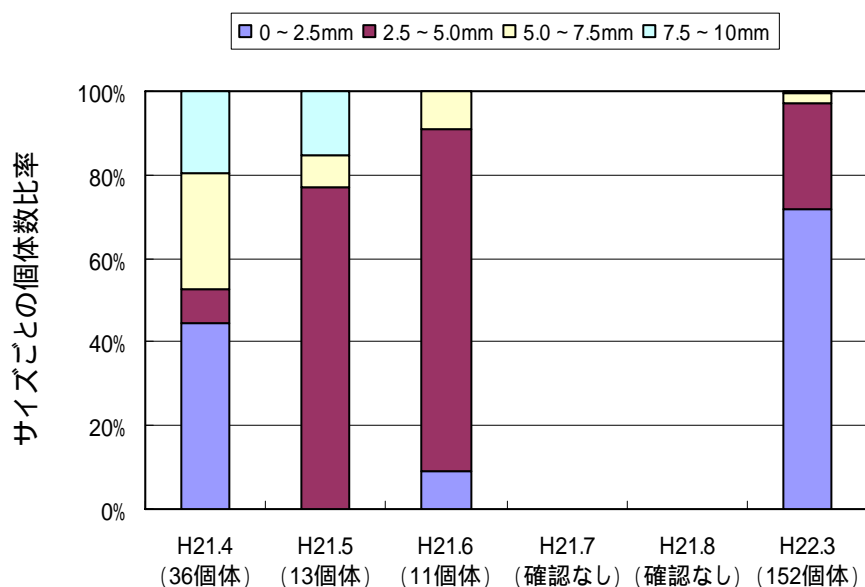
ウモレメガニの調査時期と個体サイズ（甲幅）の関係を図 6-2-11-1 に示す。

ウモレメガニの個体サイズごとの個体数比率は、5.0mm 以上については平成 21 年 4 月が他の時期と比較して最も高く、5 月、6 月と減少し、7 月、8 月には消失した。しかし、翌年の 3 月には個体数比率は少ないが再度確認されるようになった。

2.5～5.0mm 未満の個体数比率は、成長に伴い 5 月、6 月に増加した。しかし、7 月、8 月には消失し、翌年の 3 月には個体数比率は少ないが再度確認されるようになった。

2.5mm 未満の個体数比率は、成長に伴い 5 月、6 月に減少した。7 月、8 月には消失するが、翌年の 3 月には個体数比率が最大となった。3 月に確認された 2.5mm 未満の個体は 109 個体と他の月と比較して圧倒的に多いことなどから、3 月以前に孵化した個体であると考えられる。

なお、個体数は、3 月に最も多く、4 月以降顕著に減少していた。また、本年度に確認された個体に抱卵している個体はなかった。



注)調査年月の下段の括弧内は確認した個体の実数を示す。

図 6-2-11-1 ウモレメガニの調査時期と個体サイズ（甲幅）の関係

6-2-12 ウモレマメガニ分布調査で確認されたその他の底生生物

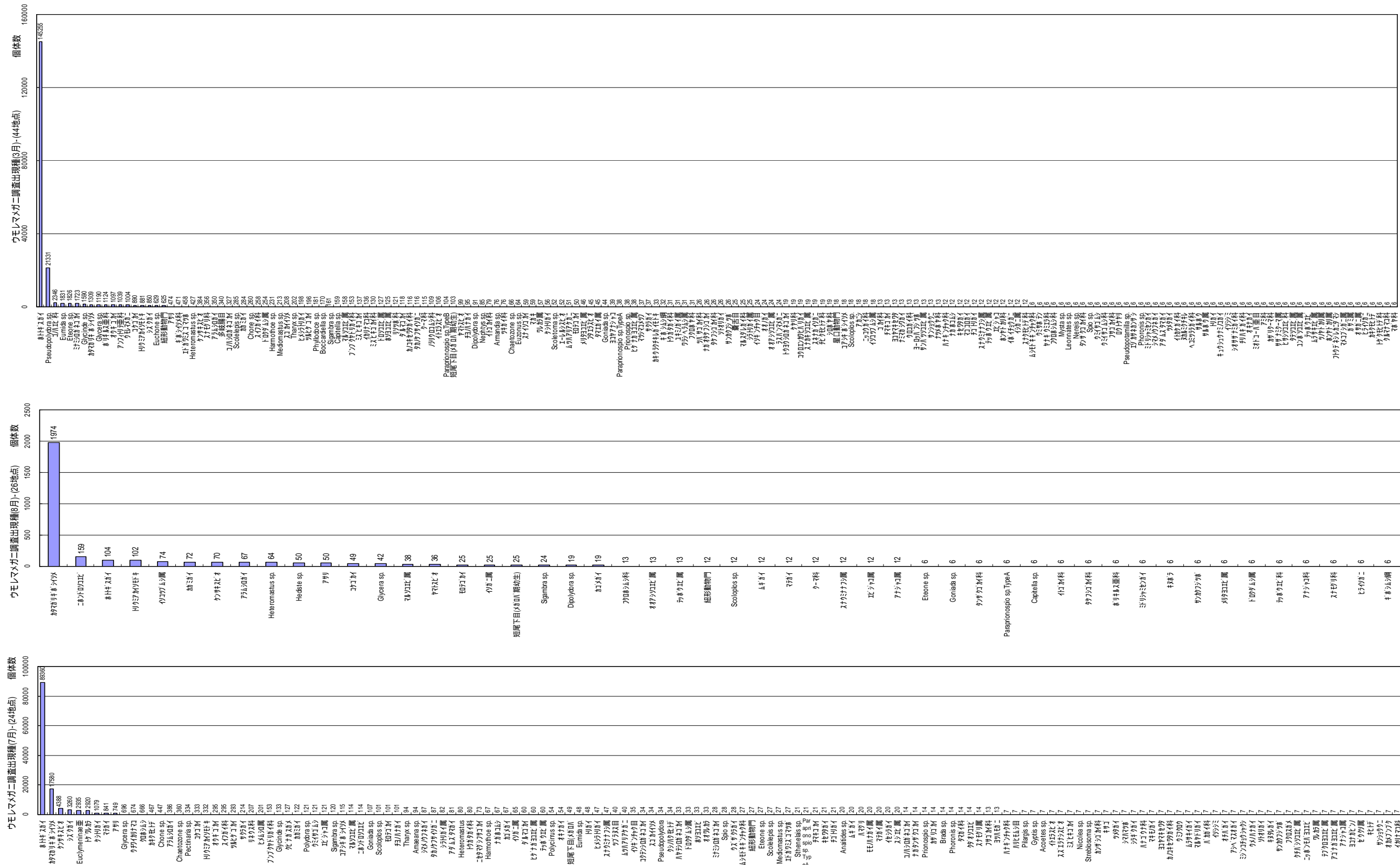
ウモレマメガニ分布調査時に確認されたその他の底生生物の種別合計個体数を図 6-2-12-1 に、合計湿重量を図 6-2-12-2 にそれぞれ示す。

ウモレマメガニ分布調査時に確認された底生生物の確認種数は、平成 21 年 4 月に 133 種、5 月に 160 種、6 月に 158 種、7 月に 134 種、8 月に 47 種、平成 22 年 3 月に 165 種であった。8 月は、他の時期に比べて種数、個体数ともに少なかった。これは、8 月 9 日の台風 9 号の接近に伴う出水により、汽水域が長時間淡水化したことで、汽水・海水性の種が影響を受けたことによるものと考えられる。

個体数でみた優占種は、平成 21 年 8 月を除く全ての調査で、ホトトギスガイが第一優占種であった。8 月の調査時には、カタマガリギボシイソメが第一優占種となっていた。カタマガリギボシイソメは、5 月、6 月、7 月調査時にはホトトギスガイに次いで多数の個体が確認されており、これら 2 種が本調査地の代表的な優占種であった。

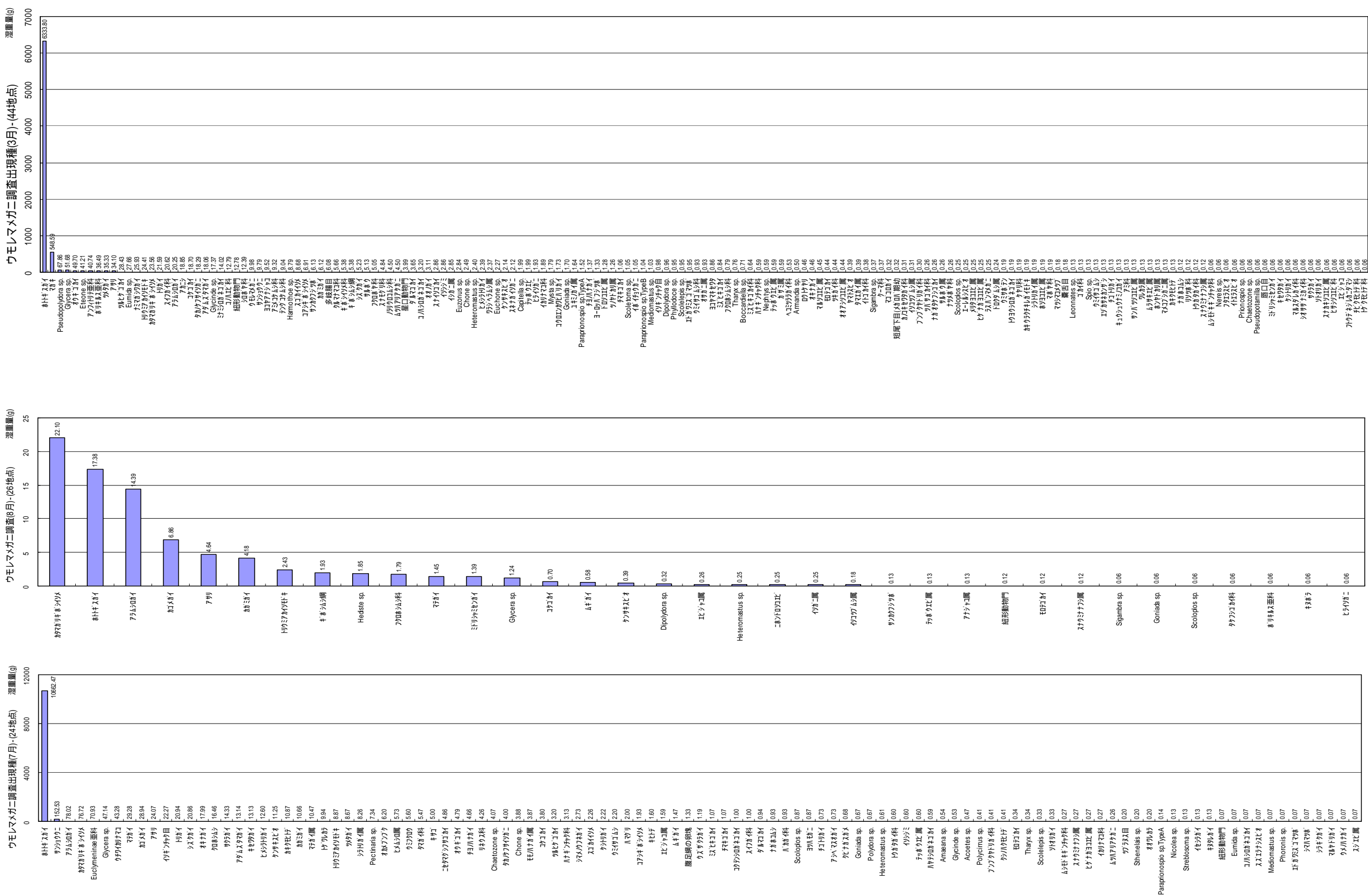
なお、表在性指標種としてはスゴカイイソメが 4~7 月および 3 月に確認された。また、埋在性指標種は、ハマグリが 4 月、6 月、7 月に、イソシジミが 7 月、3 月に、ソトオリガイが 4~7 月、3 月にそれぞれ確認された。指標種（上位種）のガザミ属（ガザミ類）は 3 月に確認された。

湿重量でみた優占種は、個体数と同様に、平成 21 年 8 月ではカタマガリギボシイソメ、8 月を除く全ての調査ではホトトギスガイがそれぞれ第一優占種であった。個体数の多いこれら 2 種に加え、キヒトデやサンショウウニ、ハマグリやマガキ等、比較的サイズの大きい種も優占種となる傾向がみられた。



注 1) 図中の数値は 1 地点あたりの個体/m²を算出し、集計したものである。
 2) 普通海面網、コケムシ網、ヤナギウミエラ科などの群体の種については、集計していない。

図 6-2-12-1 (2) ウモレメマガニ調査・確認種別合計個体数



注 1) 図中の数値は 1 地点あたりの g/m² を算出し、集計したものである。
 2) 1 地点あたりの湿度 (実測値) が 0.01g 以下の場合は、集計していない。

図 6-2-12-2 (2) ウモレメマガニ調査・確認種別合計湿度量

ウモレマメガニの生息の有無を指標する代表的な種の把握を目的とし、ウモレマメガニが「確認された地点」、「確認されなかった地点」について個体数でみた優占種を表6-2-12-1に整理した。

各時期ともウモレマメガニの確認の有無にかかわらず、概ねホトギスガイが第一位の優占種となっていた。本種は砂泥底に生息し、岩礁などの付着基盤がなくとも互いに足糸で絡み付いて群体を形成することなどから、第一位の優占種になる機会が多かったものと考えられる。

第一位以外の優占種には、カタマガリギボシイソメやアサリが該当する時期が多かったが、ウモレマメガニの確認の有無との間には、明確な関係性が認められなかった。一方、ウモレマメガニが確認されなかった地点のみで上位の優占種になっている種としては、シズクガイおよび Euclymeninae 亜科が挙げられる。このうちシズクガイは、ウモレマメガニが確認された地点においても第六位以降に比較的多く確認されている。また Euclymeninae 亜科は複数種を含むことから、これらの種の指標性は低いと考えられる。

以上のことから、ウモレマメガニの生息の有無を指標する優占種は認められなかった。

表 6-2-12-1 ウモレマメガニ分布調査地点における個体数からみた優占種

調査時期	ウモレマメガニ 確認の有無	優占順位				
		第一位	第二位	第三位	第四位	第五位
4月	確認(13地点)	ホトギスガイ	アサリ	コケコガイ	アラムシロガイ	<i>Glyceria</i> sp.
	非確認(9地点)	ホトギスガイ	カタマガリギボシイソメ	シズクガイ	アサリ	<i>Chone</i> sp.
5月	確認(5地点)	ホトギスガイ	アサリ	カタマガリギボシイソメ	トリウミアカイソトキ	<i>Glyceria</i> sp.
	非確認(17地点)	ホトギスガイ	カタマガリギボシイソメ	シズクガイ	ケンサキシビオ	Euclymeninae 亜科
6月	確認(8地点)	ホトギスガイ	アサリ	ケンサキシビオ	アラムシロガイ	カタマガリギボシイソメ
	非確認(32地点)	ホトギスガイ	カタマガリギボシイソメ	Euclymeninae 亜科	アサリ	シズクガイ
7月	確認(0地点)	-	-	-	-	-
	非確認(24地点)	ホトギスガイ	カタマガリギボシイソメ	ケンサキシビオ	シズクガイ	Euclymeninae 亜科
8月	確認(0地点)	-	-	-	-	-
	非確認(26地点)	カタマガリギボシイソメ	ニホンドロソコエビ	ホトギスガイ	トリウミアカイソトキ	イソコツブムシ属
3月	確認(14地点)	ホトギスガイ	<i>Pseudopolydora</i> sp.	<i>Eteone</i> sp.	<i>Eumida</i> sp.	ウモレマメガニ
	非確認(30地点)	ホトギスガイ	<i>Pseudopolydora</i> sp.	コノハエビ科	<i>Glycinde</i> sp.	カタマガリギボシイソメ